

[本体部]

[アンプ部]

実用最大出力.....20W+20W(EIAJ 6Ω)
周波数特性
AUX.....50 Hz~50 kHz (+0 dB、-3 dB)

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲.....76 MHz~90 MHz

AMチューナー部

受信周波数範囲.....531 kHz~1,629 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
記録方式.....磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式.....ATRAC
D/Aコンバーター.....1 Bit
ワウ・フラッター(EIAJ).....測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式.....非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
D/Aコンバーター.....1 Bit
サンプリング周波数.....8 fs (44.1 kHz)
ワウ・フラッター(EIAJ)
.....測定限界以下

[カセットデッキ部]

トラック方式.....4トラック2チャンネルステレオ
録音方式.....交流バイアス(周波数:105 kHz)
ヘッド
録音/再生ヘッド.....1
消去用.....1
モーター.....DCモーター X1
ワウ・フラッター.....0.2% (W.R.M.S.)
早巻き時間.....約100秒(C-60)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数.....AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示).....55W
最大外形寸法.....幅 180mm
高さ 239mm
奥行 305mm
質量(重量).....5.7kg(正味)

[スピーカー部]

エンクロージャー.....ブックシェルフ型
スピーカー構成
ウーファー.....100mm コーン型
ツイーター.....25mm ドーム型
インピーダンス.....6Ω
最大入力.....30W
最大外形寸法
幅.....139mm
高さ.....234mm
奥行.....216mm
質量(重量).....2.5kg(1本)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い
予告なく変更することがあります。

●極端に寒い(氷が凍るような)場所では十分な
性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

AvinO

マイクロハイファイ コンポーネント システム

SH-3MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ました。

機器を正しく、安全にご使用いただくため、
使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の
「安全上のご注意」をお読みになり、十分にこ
理解ください。

使いかたの説明も、併せてよくお読みくださ
よう、お願いいたします。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要に
なったときにくり返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使
用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

●商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室(東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

(大阪) 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

152-23826-0266R2

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXTMini
Disc

本機の特長

CD→MD High Speed (倍速) ダビング対応

CDからMDへカンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。(CD全曲録音のみ対応) →40

CDのテキスト情報表示機能

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDIに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。 →25

CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。表示できる文字数は1000文字までです。それ以上は"TEXT MEMORY FULL"と表示されます。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- ワンタッチ録音 : キーを押すだけで、CD 1枚または1曲をカンタンに録音できます。 →41
- TWIN REC 機能 : CDからMDとテープへ同時録音が出来ます。 →42
- プログラム録音 : 好きな曲を好きな曲順で録音できます。 →43

便利なタイマー機能

2つの内容を登録できるタイマーのほか、次の便利なタイマーがあります。

- AI タイマー : タイマー再生開始後、一定のレベルまで徐々に音量が上がります。 →61
 - O.T.T.タイマー : 時刻をセットするだけのカンタンな操作で、1回限り1時間だけのタイマー再生が可能です。 →60
 - スリープタイマー : 設定した時間を経過すると自動的にパワーがオフします。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。 →63
- O.T.T..... Operate easy To use Timer

FM放送局名自動表示機能

都道府県を登録すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に設定します。FM放送を受信しているときは、表示部に放送局名が表示されます。 →30

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能(表示のみ)があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

DEMO OFF (デモンストレーション解除):

"DEMO"中にset/demoキーを押す

DEMO ON (実行):

電源がオンの時にset/demoキーを押す(2秒以上)



- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に"DEMO ON"になります。

付属品

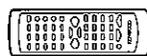
FM 室内アンテナ(1本) AM ループアンテナ(1個)



スピーカーコード(2本) リモコン用乾電池(2本)



リモートコントロールユニット(1個)



安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) 4

準備編

音を出す前に

△接続のしかた 10

△システムと付属品の接続 10

△他の機器(市販品)との接続 12

各部のなまえと働き 13

表示部 13

本体部 14

リモコン部 16

リモコンの使いかた 17

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

基本的な使いかた 18

CDを聴く 20

MDを聴く 22

聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ) 24

テープを聴く 26

ラジオを聴く 28

放送局をオートプリセットする

(エリア別FM放送局名自動表示) 30

MDに録音する 32

テープに録音する 34

応用編

楽しさが広がります

CDとMDのいろいろな再生 36

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生) 36

繰り返し聴く(リピート再生) 37

ランダム再生を楽しむ 38

便利な録音あれこれ 39

録音のタイプを選ぶ 39

全曲倍速録音(CD→MD) 40

ワンタッチエディット録音

(CD→MD/CD→TAPE) 41

MDとテープに同時録音(TWIN REC) 42

プログラム録音

(CD→MD/CD→TAPE/TWIN REC) 43

プログラム録音(MD→TAPE) 44

MDの編集機能 45

編集機能のタイプを選ぶ 45

曲を1曲ずつ移動する(TRACK MOVE) 46

曲を分ける(TRACK DIVIDE) 48

曲をつなぐ(TRACK COMBINE) 49

1曲消す(TRACK ERASE)

または全曲消す(ALL ERASE) 50

ミニディスクや曲にタイトルをつける 51

タイトルを変更、消去する 54

タイトルをコピーまたはメモして、

他のミニディスクや曲につける 55

音質の調整 57

音質の調整 57

バランスの調整 57

外部入力機器を聴く 58

外部入力機器を聴く 58

インプットレベルを調整する 58

時刻合わせ 59

タイマーを使う 60

O.T.T.タイマーを設定する 60

毎日働くタイマーを設定する 61

おやすみタイマー(SLEEP) 63

知識編

知っているとかかと便利です

知っておきましょう 64

メンテナンス 64

参考 64

故障かな?と思ったら 67

保証とアフターサービス(必ずお読みください) 71

△定格 72



安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用前に、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

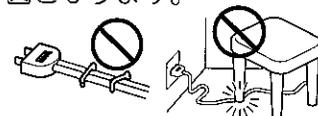
通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。





電源プラグは清潔に

- ❗ 電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ケースを絶対に開けないでください

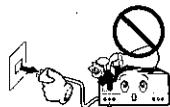
- ❌ 機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



機器の内部に水や異物を入れない

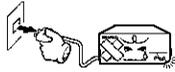
- ❌ 機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
- ❌ 機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

- ❗ 内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



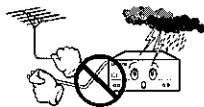
落下した機器は使わない

- ❗ 機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら

- ⚡ アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



電池は放置しない

- ❗ 電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

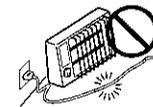
乾電池は充電しない

- ❌ 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



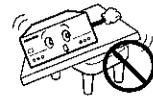
電源コードを熱器具に近づけない

- ❌ 電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。



不安定な場所には置かない

- ❌ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



湿気やほこりのある場所に置かない

- ❌ 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となります。



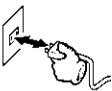
温度の高い場所には置かない

- ❌ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となります。



電源プラグの抜き差しは

- ❌ めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ❌ 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- ❌ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ❗ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。





注意

全世の注意

長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物に乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



注意

安全上の注意

音量に気をつけて

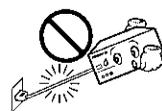


はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。
●極性表示（プラス“+”とマイナス“-”の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

システムと付属品の接続

本機と、付属品の接続方法です。

注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行ってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意 設置のご注意

過熱による火災の原因となりますので、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

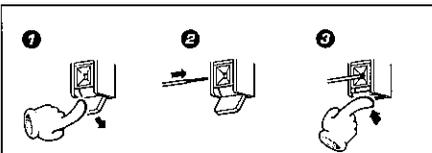


1. スピーカーコードの十と一は絶対にショートさせないでください。
2. 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
3. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
4. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かず接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

スピーカーの設置とテレビについて

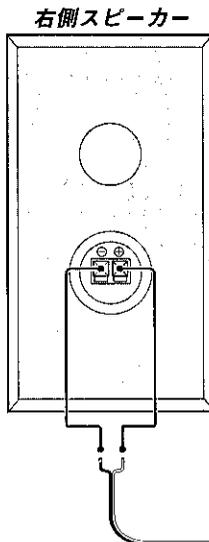
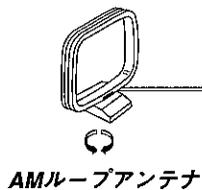
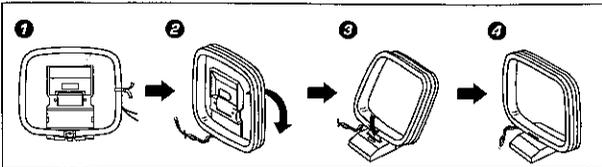
1. スピーカーの設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

本体部



AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

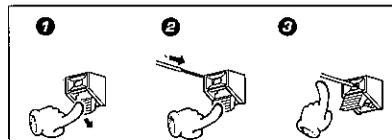
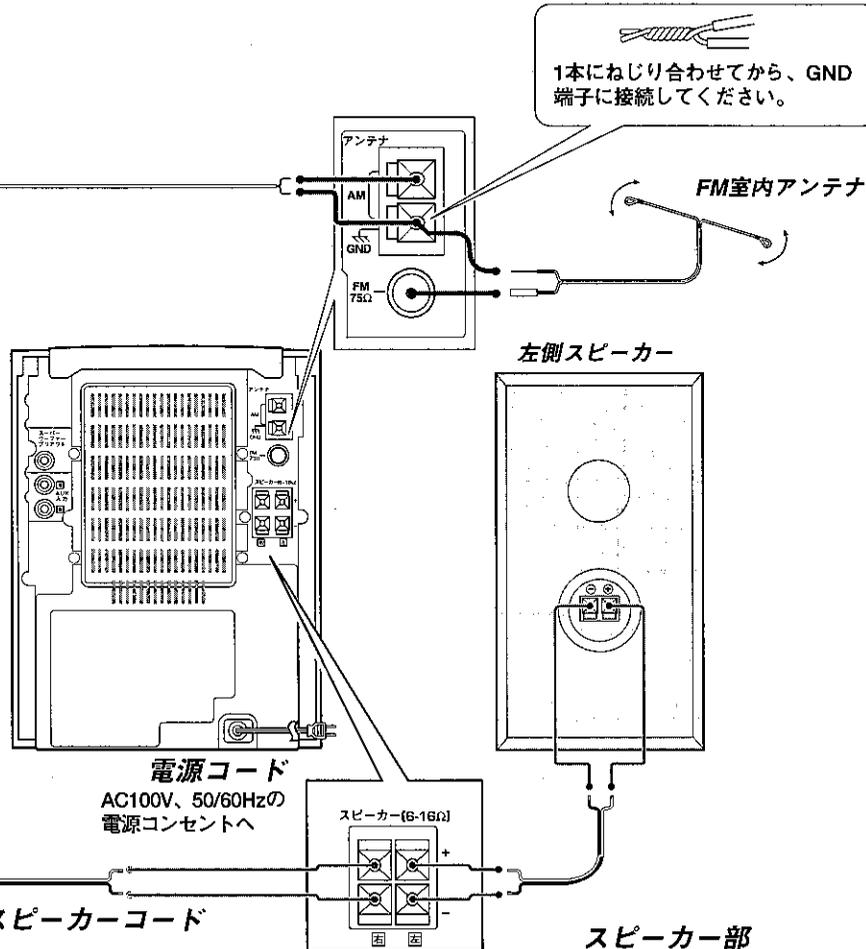


FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

- 1 アンテナ端子に接続する。
- 2 受信状態のよい位置をさがす。
- 3 固定する。

マイコンの誤動作について
正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら」を参照してマイコンをリセットしてください。-67



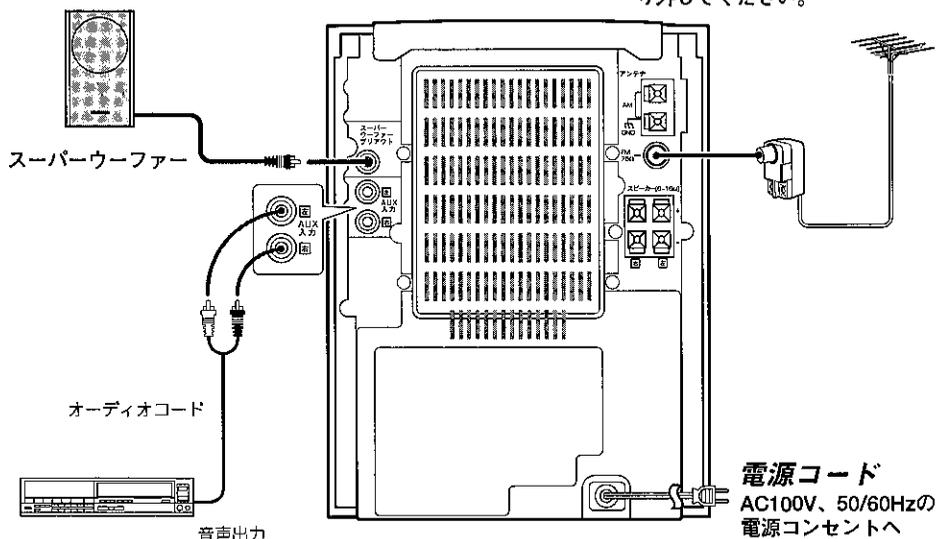
他の機器(市販品)との接続

注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。



ビデオデッキまたは、
RIAAイコライザーアンプ内蔵の
レコードプレーヤー/P-110(別売)
など

電源コード
AC100V、50/60Hzの
電源コンセントへ

1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
3. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

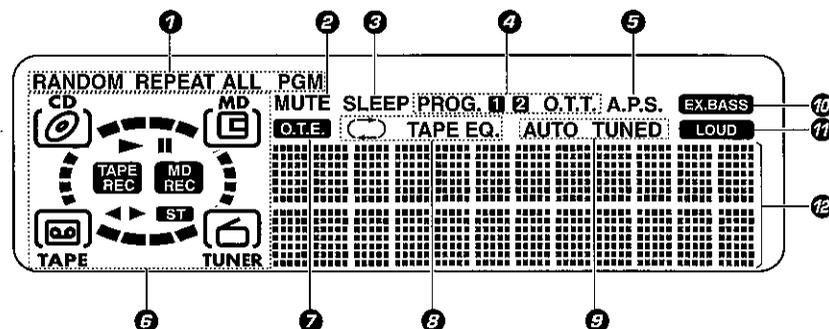
注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

各部のなまえと働き

表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。



- ① CD、MD関連表示
- ② MUTE表示
- ③ SLEEP表示
- ④ タイマー関連表示
- ⑤ オートパワーセーブ表示
- ⑥ 各入力関連表示

- ⑦ O.T.E. (One Touch Edit) 表示
- ⑧ テープ関連表示
- ⑨ チューナー関連表示
- ⑩ EX.BASS表示
- ⑪ LOUD表示
- ⑫ 文字情報表示

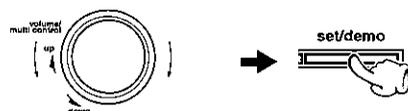
表示部の調節について

BACK LIGHTの調節
本体表示部の明るさを調節することができます。

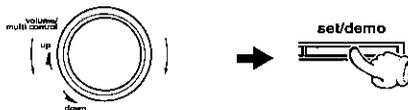
- ① 電源がオンのとき、menuキーを押す



- ② volume/multi controlつまみを回して"BACK LIGHT?"を選び、set/demoキーを押す



- ③ 再度volume/multi controlつまみを回して好みの明るさ("High"または"Low")を選び、set/demoキーを押して確定する



- おやすみタイマー(SLEEP)が設定されているときは、BACK LIGHTの設定にかかわらず"Low"になります。

AUTO POWER SAVE機能について

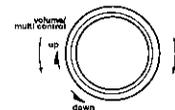
電源がオンで、CD、MD、TAPEのすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、オン/オフを選べます。

- ① "A.P.S. SET?"を選ぶ



("?"マークが点滅中にset/demoキーを押す)

- ② 選択する

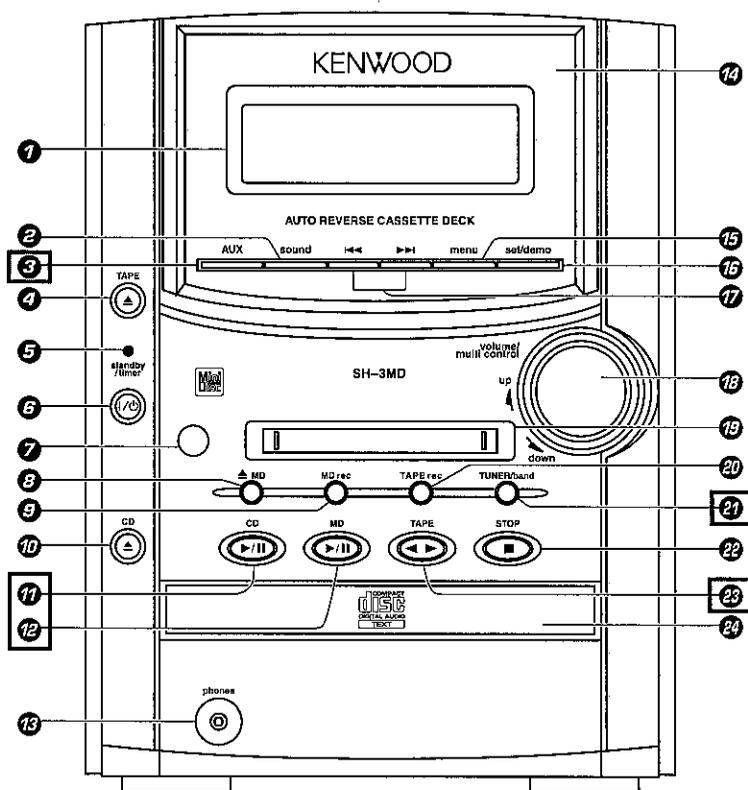


- ③ 確定する



- 入力切替がTUNER、AUXのときは、音量がゼロまたはMUTEがオンのときに限り働きます。

本体部



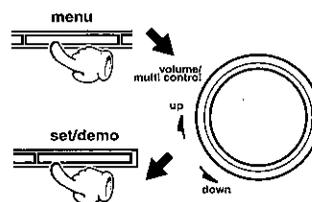
ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、**□**内の各操作キーを押すと、すぐに再生(受信)します。

- ① 表示部
② soundキー - [19]
EX. BASS再生、LOUD再生を切り換えます。
- ③ AUXキー - [58]
AUX (アナログ外部入力端子)に接続した入力ソースを聴くときに使います。
- ④ TAPE ▲キー - [26]
カセットテープを出し入れするときに使います。
- ⑤ "standby/timer"表示灯
電源がスタンバイ状態になると点灯します。
赤 : 通常のスタンバイ状態
オレンジ : タイマースタンバイ状態
消灯 : 電源オンの状態
- ⑥ POWER (I/O) キー - [18]
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- ⑦ リモコン受光部 - [17]
- ⑧ MD▲キー - [47]
MDを取り出すときに使います。
- ⑨ MD recキー - [33]
MDで録音をするときに使います。
- ⑩ CD▲キー - [20]
CDトレイを開閉します。
- ⑪ CD▶/||キー - [20]
CDプレーヤーに入力を切り換え、再生を開始します。
CD再生中に押すと一時停止をします。
- ⑫ MD▶/||キー - [22]
MDレコーダーに入力を切り換え、再生を開始します。
MD再生中に押すと一時停止をします。
MD録音中に押すと録音を一時停止します。
- ⑬ phones端子 - [19]
ステレオミニプラグのヘッドホン(別売)を接続します。
- ⑭ カセットホルダー
TAPE▲キーで開閉します。
- ⑮ menuキー - [59]
volume/multi controlつまみの機能を切り換えます。
時刻合わせをするときに使います。
- ⑯ set/demoキー - [27] - [37]
volume/multi controlつまみで選択した項目の設定や確定などに使います。
デモンストレーションのオン/オフに使います。
- ⑰ ◀▶キー - [21] - [23]
CD、MDのとき:
スキップ(曲の飛び越し)キーとして使います。
TAPEのとき:
早送り、早戻しに使います。
チューナーのとき:
記憶させた放送局を受信するときに使います。
その他、MDの編集、トラックNo.選択、タイトル入力時の文字選択に使用します。
- ※ ⑱ volume/multi controlつまみ - [18]
通常は音量の調節に使います。
- ⑲ ミニディスク挿入口
- ⑳ TAPE recキー - [35]
録音を始めます。録音中に押すと、約4秒間の無音部分(空き)を作ってから一時停止します。
- ㉑ TUNER/bandキー - [28]
チューナーに入力を切り換えます。
放送バンドを切り換えます。
- ㉒ STOP■キー - [28]
スタンバイ時に押すと、表示部に時計を表示します。
- ㉓ TAPE◀キー - [26]
カセットデッキに入力を切り換え、テープを再生します。
再生中に押すと、テープの走行方向を切り換えます。
- ㉔ CDトレイ
CD▲キーで開閉します。

※ volume/multi control つまみについて

menuキーで機能を切り換え、volume/multi control つまみを回して項目を選びます。
set/demoキーで各設定項目の設定や確定をします。



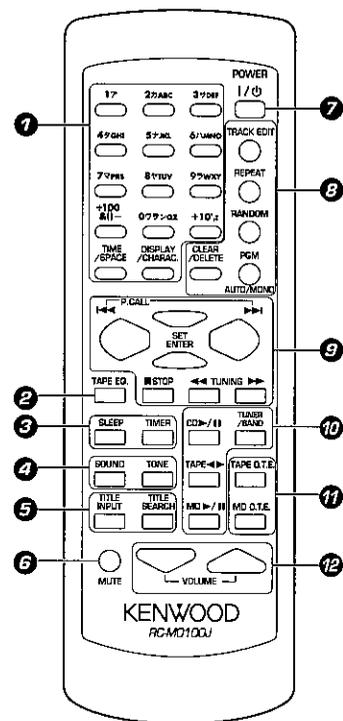
回すたびに表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?	[27]
REC MODE	?	[40]
ケンメイセッテイ	?	[30]
(入力切換がチューナーの時のみ)		
AUX INPUT	?	[58]
(入力切換が外部入力の時のみ)		
BALANCE	?	[57]
BACK LIGHT	?	[13]
A.P.S. SET	?	[13]
TIMER SET	?	[60]

● 20秒間操作しないと通常モードに戻ります。

リモコン部

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



型名：RC - M0100J
赤外線方式

① 文字/数字キー

CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNERのプリセットコールキーとして使います。→(21)→(23)→(29)
MDのタイトル入力するとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。→(52)

TIME/SPACE キー

CDとMDの再生時間などの表示を切り換えます。→(21)→(23)

MDのタイトル入力するとき、カーソルの位置にスペースを入力します。→(52)

DISPLAY/CHARAC. キー

表示部の表示モードを切り換えます。→(25)
MDのタイトル入力するとき、文字の種類を切り換えます。→(52)

② TAPE EQ. キー

テープイコライザーをオンにするときに使います。→(27)

③ SLEEP キー

おやすみタイマーを設定するときに使います。→(63)

TIMER キー

タイマーを選択するときに使います。→(63)

④ SOUND キー

EX.BASS再生、LOUDNESS再生を切り換えます。→(19)

TONE キー

音質の調整に使います。→(57)

⑤ TITLE SEARCH キー

MDで、聴きたい曲をタイトルで探すときに使います。→(24)

TITLE INPUT キー

MDにタイトル入力をするときに使います。→(51)

⑥ MUTE キー

一時的に音を消したいときに使います。→(19)

⑦ POWER (I/O) キー

電源のオン/スタンバイを切り換えます。→(18)

⑧ CD、MD 関連キー

(CD、MD共用のキーは、入力切り換えに応じて、CD、MDのうちの、選ばれている側に対して働きます。)

TRACK EDIT キー

MDの曲を編集するとき、曲の移動や消去などに使います。→(46)

REPEAT キー (CD、MD)

繰り返し再生するときに使います。→(37)

RANDOM キー (CD、MD)

曲順を順不同に再生します。→(38)

PGM/AUTO/MONO キー (CD、MD)

曲順をプログラムするときに使います。→(36)

AUTO (オート選局、ステレオ受信) と MONO (マニュアル選局、モノラル受信) の切り換えを行います。

CLEAR/DELETE キー (CD、MD)

プログラムした曲を取り消します。→(36)

MDのタイトル入力するとき、1文字を削除します。→(54)

⑨ 基本操作キー

P.CALL キー

CD、MDのとき：→(21)→(23)

スキップ(曲の飛び越し)に使います。

MDの編集、文字選択などにも使います。

チューナーのとき：→(26)

記憶させた放送局を受信するときに使います。

TAPEのとき：→(27)

早送り、早戻しに使います。

TUNING キー

CD、MD、TAPEのとき：→(21)→(23)→(27)

早送り、早戻しに使います。

MDのタイトル入力するとき、カーソルの移動に使います。

→(53)

チューナーのとき：→(26)

放送局の選択に使います。

SET キー →(46)

MDの編集処理の設定や、volume/multi controlつまみで選択した項目の設定や確定などに使います。

ENTER キー

MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。→(47)→(54)

チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。→(29)

→(29)

STOP キー

⑩ TAPE 左右 キー

MD 左右 キー

CD 左右 キー

TUNER BAND キー

⑪ TAPE O.T.E. キー / MD O.T.E. キー

→(41)

CDをワンタッチでテープまたはMDに録音できます。

CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CDの全曲をMDまたはテープへ録音します。

⑫ VOLUME キー

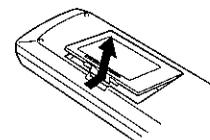
音量を調節するときに使います。→(18)

音質を調整するときに使います。→(57)

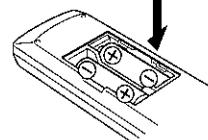
リモコンの使いかた

電池の入れかた

① カバーを開く

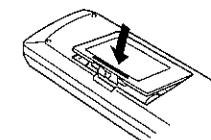


② 電池を入れる



●単3乾電池2個を極性マークに従って入れる。

③ カバーを閉める

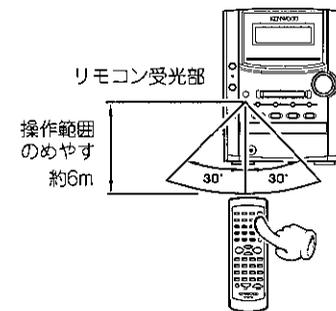


操作のしかた

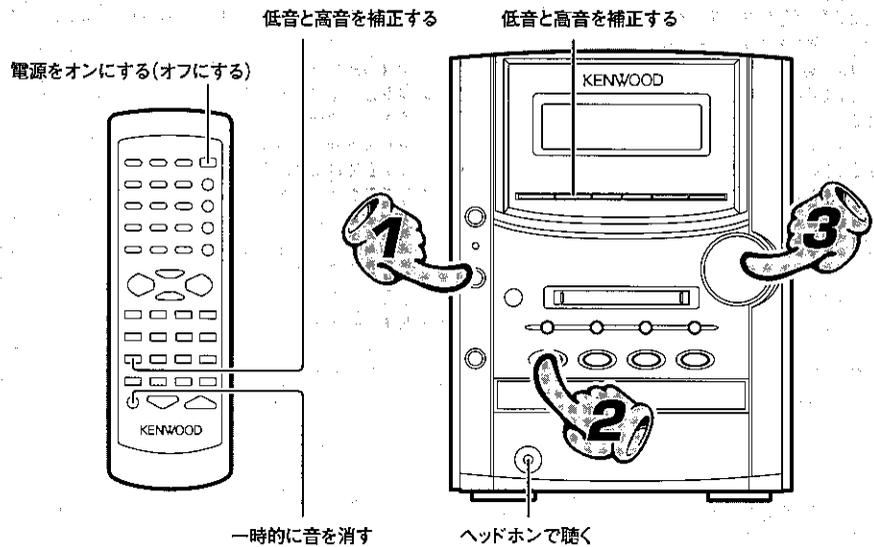
本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER(I/O)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度POWER(I/O)キーを押します。"standby/timer"表示灯のみが点灯するスタンバイ状態になります。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。



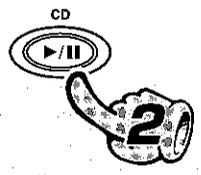
低音と高音を補正する 低音と高音を補正する

1. 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときにPOWER(I/O)キーを押すとオフになり、standby/timer表示灯が赤、またはオレンジ色に点灯します。

- CD ▶/II, MD ▶/II, AUX, TAPE ◀ キーまたは、TUNER/ bandキーを押しても、電源がオンになり、再生(受信)します。
(ファンタッチオペレーション機能)
- CD, MD, TAPEを選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

例: CDを選ぶ時

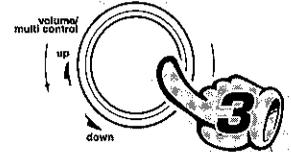


2. 聴きたいものを選ぶ

- CD - [20]
- MD - [22]
- TAPE - [26]
- TUNER(ラジオ) - [28]
- AUX(外部入力) - [38]
- "インプットレベルを調整する" - [58]

- CD ▶/II, MD ▶/II, AUX, TAPE ◀ キーまたは、TUNER/ bandキーを押すと、その入力に切り換わります。

3. 音量を調節する

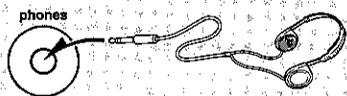


音量を下げる 音量を上げる

- 表示部に目安の数字が表示されます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む



- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す(リモコンのみ)



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

低音と高音を補正する



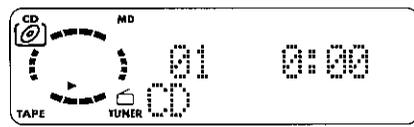
押すたびに切り換わります。

- ① "EX. BASS"点灯
音量にかかわらず低音域を補正
- ② "LOUD"点灯
音量に合わせて低音域を補正
(小音量時に有効です)
- ③ 消灯.....解除

- "EX. BASS"または"LOUD"表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。

"standby"状態について

本機のstandby/timer表示灯が赤、またはオレンジ色に点灯しているときは、メモリー保護のため、微弱な通電が行なわれています。これをスタンバイ状態といいます。このときは、リモコンで本機をオンできます。



CDを選んだとき



音量の表示

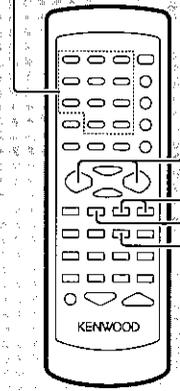


CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ▶/IIキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

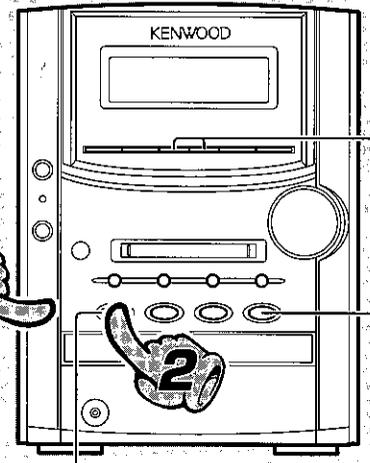
曲を飛び越す

好きな曲から聴く

早送り、早戻しする
停止する



再生/一時停止する



曲を飛び越す

停止する

再生/一時停止する

曲を飛び越す

戻る ◀▶ 進む

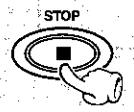
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

早送り・早戻しする(リモコンのみ)

早戻し ◀◀ TUNING ▶▶ 早送り

- 手を離れたところから再生します。

再生を止める



一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

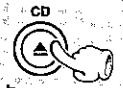
好きな曲から聴く(リモコンのみ)

曲を選ぶ	17	37ABC	37DEF
	47GHI	57JKL	67MNO
	77PQR	87STU	97VWXY
	07ZABC	-10-	

数字キーを押す順序は

23曲目なら [+10] [+10] [3]
 40曲目なら [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

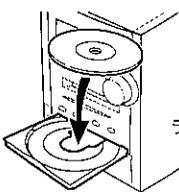
CDを取り出す



- CDトレイが開きます。

1. ディスクを入れる

- ① CD▲キーを押す
- ② ディスクを入れる
- ③ CD▲キーを押す



ラベル面を上にする

2. 再生をはじめる

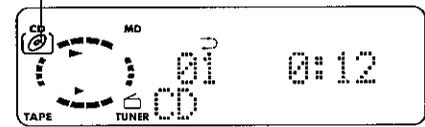


CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。→ [25] CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。表示できる文字数は1000文字までです。それ以上は"TEXT MEMORY FULL"と表示されます。

- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。

ディスクが入っているときに表示されます。



- CD-TEXT対応のディスクでは、タイトルが表示されません。

CDプレーヤーの時間表示について(リモコンのみ)

TIME/SPACE キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 1:23 (再生中の曲の経過時間)
- ② -2:37 (再生中の曲の残り時間)
- ③ 23:45T (ディスク全体の経過時間)
- ④ -36:15T (ディスク全体の残り時間)

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない
 レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。



MDレコーダーにあらかじめミニディスクを入れておくと、MD▶/||キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

曲を飛び越す
早送り、早戻しする

好きな曲から聴く

再生/一時停止をする

停止する

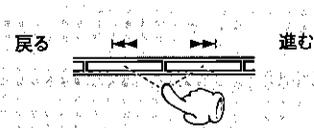
再生/一時停止をする

曲を飛び越す

ミニディスクを取り出す

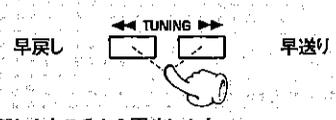
停止する

曲を飛び越す



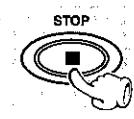
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの◀◀、▶▶キーでも操作できます。

早送り・早戻しする (リモコンのみ)



- 手を離れたところから再生します。

再生を止める



一時停止する



- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

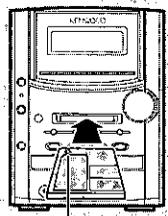
好きな曲から聴く(リモコンのみ)

17	27ABC	37DEF
47GHI	57JKL	67MNO
77PQR	87STU	97VWX
+100	07ワンセット	+10%

- 数字キーを押す順序は
23曲目なら **+10 +10 3**
40曲目なら **+10 +10 +10 +10 0**
213曲目なら **+100 +100 +10 3**
- "READING"の点滅中にミニディスクにないトラックナンバーを選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

1. ミニディスクを入れる

ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。



- ディスクにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

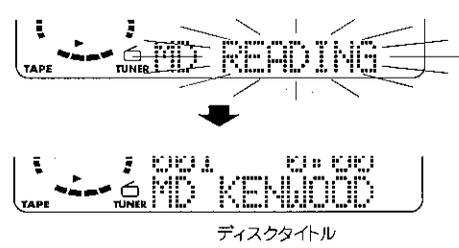
注意 スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れしないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

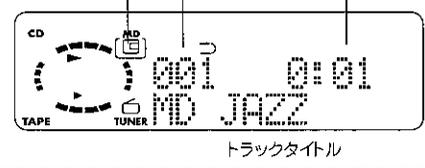


- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

表示が変わります



ミニディスクが入っているときに表示されます 再生中の曲の経過時間
再生中のトラック番号



MDプレーヤーの時間表示について(リモコンのみ)

TIME/SPACEキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

- ① 1:23 (再生中の曲の経過時間)
- ② -2:37 (再生中の曲の残り時間)
- ③ 23:45T (ディスク全体の経過時間)
- ④ -36:15T (ディスクの残りの再生時間)
- ⑤ 22:24R (ディスクの残りの録音可能時間)

モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラル長時間モードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最長160分)になります。

注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

聴きたい曲をタイトルで探す(タイトルサーチ)

録音用ミニディスクの場合、ミニディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲のタイトルで探すことができます。 - 51

① 入力切換をMDにする



② 停止する

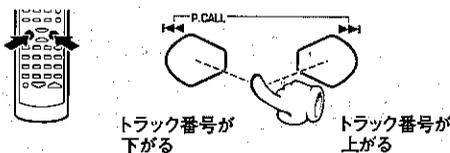


③ TITLE SEARCHキーを押す



(中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します)

④ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ



⑤ 再生する

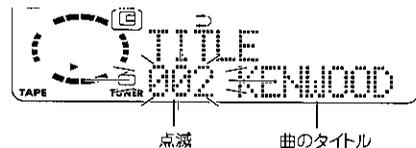


● "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGM/AUTO/MONOキーを押して消灯させてください。

消灯させる



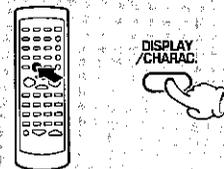
● タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"....."が表示されます。
● 本体の◀▶キーでも曲を選ぶことができます。



点滅 曲のタイトル



ディスプレイ キーについて DISPLAY / CHARAC. キーについて



CD TEXT 対応ディスクやMDのタイトルが、表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。

CD-TEXT対応ディスクとMDのとき

停止中にキーを押すと、ディスクタイトルをスクロール表示します

再生中にキーを押すと、トラックタイトルをスクロール表示します

WORLD MUSIC

NEW YORK NEWY

MDとTAPEに同時録音しているとき

押すたびに切り換わります。

① MDの録音可能時間を表示

22:24R

② テープカウンタ

0152

● 曲名(トラックタイトル)ならびにミニディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"....."が表示されます。
● 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC" と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)

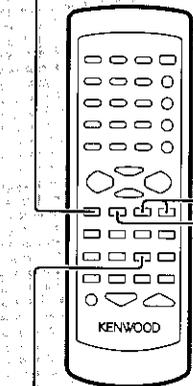


カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPÉ◀キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

TAPÉ EQ.を選ぶ

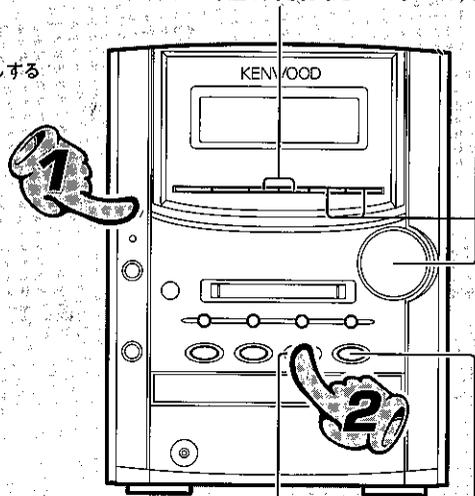
早送り、早戻しする

早送り、早戻しする リバースモードを選ぶ



再生する

停止する



再生する

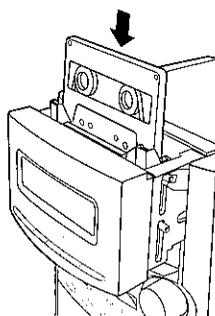
停止する

1. カセットテープを入れる

TAPÉ



- ① TAPÉ▲キーを押す
- ② テープを入れる
- ③ TAPÉ▲キーを押す



2. 再生する

走行方向表示

再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。



走行方向について

再生や録音をしているときの、テープの走行方向を、◀または▶の点灯で表示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

早送り・早戻しする

◀方向に早送りする ▶方向に早送りする



- 早送りを止めるときは、■STOPキーを押してください。
- リモコンの◀▶キーでも操作できます。

TAPÉ EQ.を選ぶ(リモコンのみ)

ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。(ドルビー録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません)

TAPÉ EQ.

テープイコライザーが
オンのとき点灯

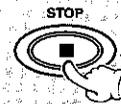


押すたびに切り換わります。

- ① "TAPÉ EQ."点灯 テープイコライザーを使う
- ② "TAPÉ EQ."消灯 テープイコライザーを使わない

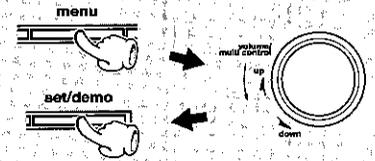
- 高音域のノイズの低減に有効です。

再生を止める



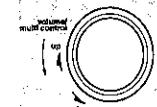
リバースモードを選ぶ(本体のみ)

- ① "TAPÉ RVS. ?"を選ぶ。



("?"マークが点滅中にset/demoキーを押す)

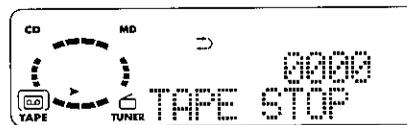
- ② 選択する。



- ① "◀" (REVERSE) 両面を再生(録音)して止まる
- ② "∞" (ENDLESS) 両面をエンドレス再生する(録音時は両面を録音して止まる)
- ③ "▶" (ONE-WAY) 片面のみを再生(録音)して止まる

(初期設定は"◀" (REVERSE)になっています。)

- ③ 確定する。



- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープ選択は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態にしてください。

リバースモードの表示

テープカウンタ



テープの走行方向表示

テープが入っているときに表示されます。

テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが"0000"と表示されます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が◀のとき)はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを"0000"にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

90分をこえるカセットテープは大変溜く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

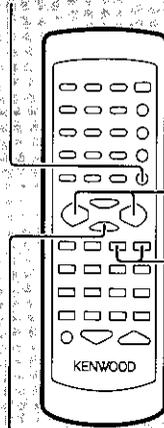
放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。



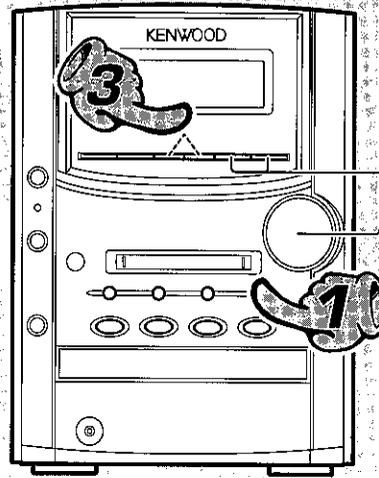
TUNER/ bandキーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

オート/マニュアル選局切替

放送局をまとめて記憶させる



選局する



放送局を一つずつ記憶させる

TUNER/band



1. TUNER/band キーを押す

押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

2. 放送局を記憶させる(オートプリセット)

"放送局をオートプリセットする"の手順に従い、お住まいの地域で受信できる放送局を自動的に記憶させてください。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からこの手順は不要です。

3. 選局する(プリセットコール)

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、◀◀または▶▶を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。
- ▶▶を押すと... 1→2→3 38→39→40→1
- ◀◀を押すと... 40→39→38 3→2→1→40.....
- リモコンでは、◀◀P.CALL▶▶キーあるいは数字キーを押して選局します。

放送局を記憶させていない場合

オート選局のとき:

◀◀TUNING▶▶キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき:

受信するまで繰り返し◀◀TUNING▶▶キーを押します。あるいは◀◀TUNING▶▶キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。



放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット) (リモコンのみ)

お好みの放送局だけを選んで1局ずつプリセットすることが出来ます。

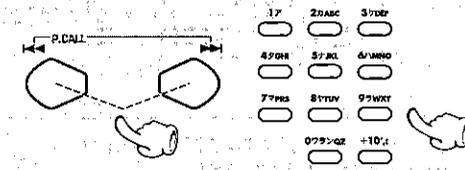
① 受信中にENTERキーを押す

ENTER



("MEMORY"表示中に、手順②へ)

② 1~40のプリセットナンバーを選ぶ

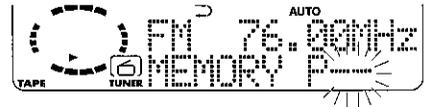


③ もう一度、ENTERキーを押す

ENTER



(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順①, ②, ③を繰り返す)



"MEMORY"表示(約20秒間)

- 最大40局まで放送局を記憶できます。

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。



放送バンドの表示



選局方法の切り換えと受信モードについて (リモコンのみ)

押すたびに切り換わります。



PGM

AUTO/MONO

- ① "AUTO" 点灯 (オート選局、ステレオ受信)
- ② "AUTO" 消灯 (マニュアル選局、モノラル受信)

電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

- 通常はAUTO(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

受信すると" Tuned" が点灯

オート選局時点灯



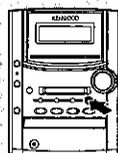
ステレオ受信時に点灯

周波数の表示

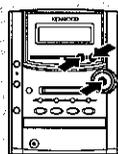
- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンの数字キーでもプリセットコールができます。

放送局をオートプリセットする(エリア別FM放送局名自動表示)

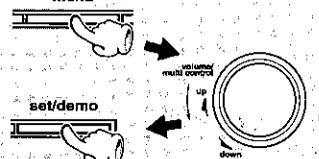
お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信出来る放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの放送局を受信すると、放送局名を(FM放送のみ)表示することが出来ます。(放送局名リスト-31)



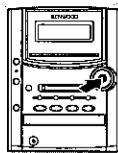
① 入力切換をTUNERにする



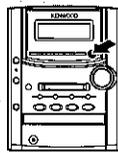
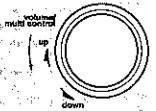
② "ケンメイ セットイ?"を選ぶ



("?"マークが点滅中にset/demoキーを押す)



③ お住まいの都道府県名を選択する

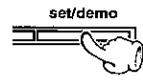


④ オートプリセットを始める



希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によって、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されないときは、set/demoキーを押すと放送局名を変えることができます。



●希望する放送局名が放送局名リストにない場合は、set/demoキーを押しても、表示は変化しません。



オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っている放送局のみに対応しています。



- 現在設定されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"ケンメイ ミセットイ?"と表示されます。



トウキョウを選択したとき
●都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。



オートプリセット中は表示部に"AUTO PRESET"が点滅しています。

- オートプリセットをおこなうと、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局が良好に受信できない場合もあります。
- オートプリセットが終了と、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。(受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合は、"TUNER"とプリセットチャンネルを表示します。



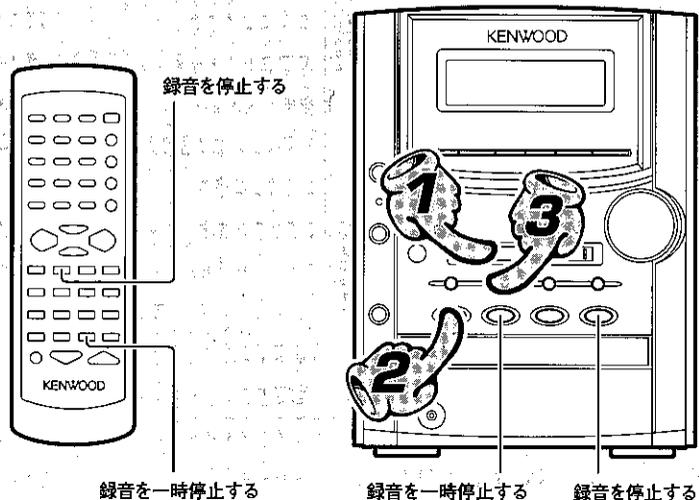
放送局名リスト

2000年4月現在

放送局	表示名	放送局	表示名	
全国ネット	NHK-FM	NHK-FM	静岡エフエム放送 K・MIX	
			エフエム愛知 FM AICHI	
			エフエム名古屋 ZIP-FM	
			愛知国際放送 RADIO-i	
北海道地方	エフエム北海道 AIR-G'	近畿地方	三重エフエム放送 FMミエ	
	エフエム・ノースウェーブ north wave		エフエム京都 アルファStation	
東北地方	エフエム青森 FMアオモリ		エフエム滋賀 E-Radio	
	エフエム岩手 FMイワテ		エフエム大阪 fm osaka	
	エフエム仙台 Date fm	エフエムはちまると FM802		
	エフエム秋田 Co-much FM	関西インターメディア FM CO・CO・LO		
	エフエム山形 BOY FMヤマガタ	兵庫エフエムラジオ放送 Kiss-FM		
関東地方	エフエム福島 フクシマFM	中国・四国地方	エフエム山陰 V-air	
	エフエム東京 TOKYO FM		岡山FM放送 FMオカヤマ	
	エフエムジャパン J-WAVE		広島エフエム放送 ヒロシマFM	
	エフエムインターウェーブ InterFM		エフエム山口 FMヤマグチ	
	放送大学 ホウソウダイガク		エフエム徳島 PassionWave	
	エフエム群馬 FMグンマ		エフエム香川 FMカガワ	
	エフエム栃木 RADIO BERRY		エフエム愛媛 FMエヒメ	
	エフエム埼玉 NACK5		エフエム高知 FM KOHCHI	
	エフエムサウンド千葉 bayfm		九州・沖縄地方	エフエム福岡 FM FUKUOKA
	横浜エフエム放送 Fm yokohama			エフエム九州 CROSS FM
エフエム富士 FM-FUJI	エフエム佐賀 FMサガ			
エフエムラジオ新潟 FMニイガタ	エフエム長崎 SMILE-FM			
長野エフエム放送 FMナガノ	エフエム中九州 FMK			
北日本放送 KNBラジオ	エフエム大分 FM OITA			
富山エフエム放送 FMトヤマ	エフエム宮崎 JOY-FM			
エフエム石川 FM ISHIKAWA	エフエム鹿児島 ミューFM			
福井エフエム放送 FMフクイ	エフエム沖縄 FM Okinawa			
	NHK 第一放送 NHKラジオ1			
	FEN オキナワ FEN オキナワ			
	九州国際エフエム Love FM			

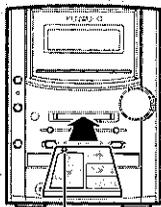
本機では、モノラル長時間モードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、ラジオなどのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



1. 録音の準備をする

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする
- ② ミニディスクを入れる

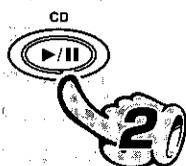


矢印の方向に入れる

注意 スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

MD以外を選ぶ

例:CDを選ぶ時



2. 何を録音するか選ぶ

- CD : デジタル録音のみ
- TAPE : アナログ録音のみ
- TUNER (ラジオ) : アナログ録音のみ
- AUX (外部入力) : アナログ録音のみ
- "インプットレベルを調整する"



表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでにCDやテープが入っているときは、再生が始まりますので ■STOP キーを押して止めます。
- 入力切換がCDのときは、自動的にデジタル録音となります。

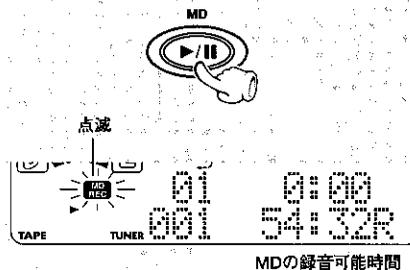
3. 録音をはじめ



- ① MD recキーを押す(録音ポーズ状態になります)
- ② 準備が出来ていれば、もう一度MD recキーを押す
- ③ 録音する音楽ソースを再生する

●CDを録音するとき、①のあとにCD>IIキーを押すと、CDの再生と同時にMDの録音が始まります。

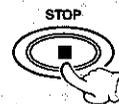
録音を一時停止する



MDの録音可能時間

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- MD recキーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する



- "WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音時のトラックナンバーについて

録音のとき、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。(テープとチューナーの場合は、トラック番号は繰り上げません。)また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除できます。もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中にTRACK EDITキーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



録音中に押す



- CDからのデジタル録音では、曲の切り替わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

●CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す(TRACK ERASE)"または全曲消す(ALL ERASE)"を参照して削除してください。

ディスプレイのメッセージについて

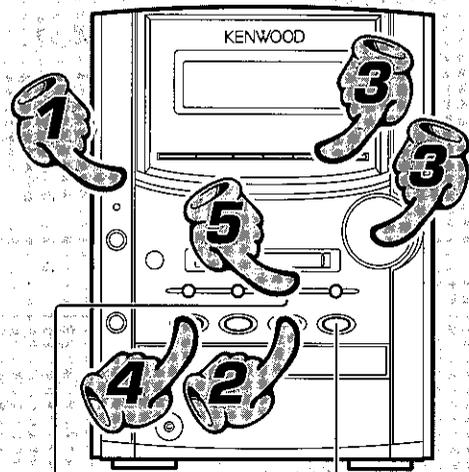
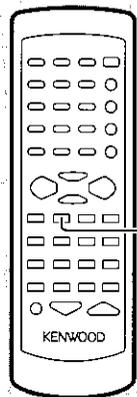
ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている。 → 不要な曲を消す。
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている。 → 閉める。
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである。 → 録音用ミニディスクを入れる。

→ [50]

→ [65]

録音を停止する

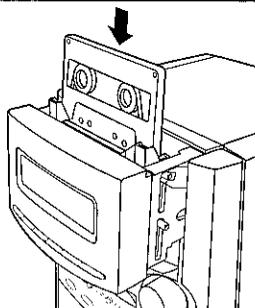


録音を一時停止する

録音を停止する

1. 録音の準備をする

- 1 TAPE△キーを押す
- 2 テープを入れる
- 3 TAPE△キーを押す



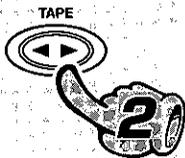
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)のテープの種別は、自動設定されます。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。

2. テープの進む向きを選ぶ

走行方向を逆にしたい場合

- 1 再生する
- 2 もう一度キーを押す
- 3 停止する

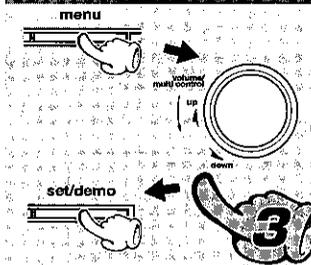
- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
"走行方向について"→(28)
- テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。



3. 録音条件を決める

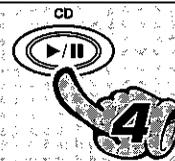
リバースモードを選ぶ →(27)

- 録音時は、テープコライザーは使えません。



TAPE以外を選ぶ

例:CDを選ぶ時



4. 何を録音するか選ぶ

CD
MD
TUNER(ラジオ)
AUX(外部入力)

01 0:00
CD

表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので■STOP キーを押して止めます。

5. 録音をはじめる

- 1 TAPE rec キーを押す
- 2 録音したい入力ソースを再生(受信)する



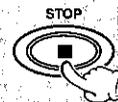
- 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

録音を一時停止する



- 録音中に再度、TAPE rec キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)

録音を停止する



CDから録音するときのポイント

CDを録音するときには、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、CDの再生とテープの録音を同時に始めることができます。

- 1 再生するCDを一時停止にする
- 2 録音したい曲を◀◀、▶▶ キーで選ぶ(選んだ曲の初めて一時停止になります。)
- 3 カセットデッキを録音ポーズ状態にする(TAPE rec キーを2回押します。)
- 4 CDの再生を始める(録音がスタートします。)

- ■STOP キーを押すと、録音を中止します。
- MDからも同様の手順で録音できます。

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

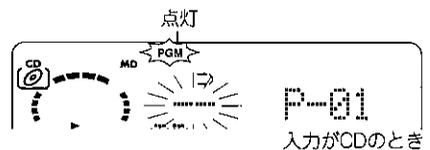
本機はメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

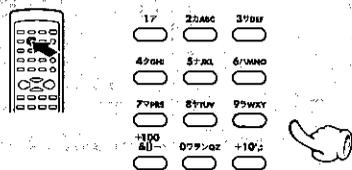
入力切換を"CD"または"MD"にする

1 "PGM"表示を点灯させる

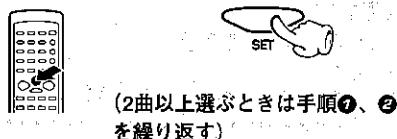


2 聴きたい順に曲を選ぶ

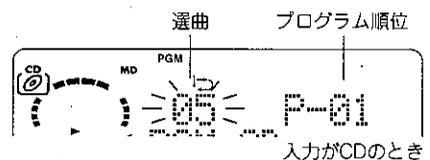
① 曲(トラック番号)を選ぶ



② 確定する



(2曲以上選ぶときは手順①、②を繰り返す)

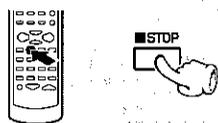


- 数字キーを押す順序は
 23曲目なら [+10] [+10] [3]
 40曲目なら [+10] [+10] [+10] [+10] [0]
 213曲目なら ... [+100] [+100] [+10] [3]
- +100キーはMDのときのみ使います。
 ● ◀ または ▶ キーでも曲を選ぶことができます。
 ● 32曲まで選べます。"PROGRAM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
 ● 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押してから選び直します。
 ● 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
 ● プログラム時間の合計が100分以上になると、時間表示が"----:--"になります。

3 再生する

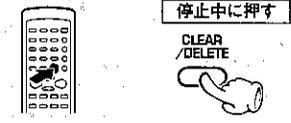


再生を停止する



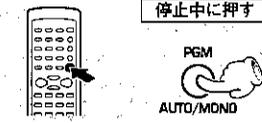
プログラムした曲を取り消すには

後ろから順に消していく



- プログラムの内容が、全部消えます。
- (P-5が取り消されたとき)
 ● 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムモードを解除する



- プログラムの内容が、全部消えます。

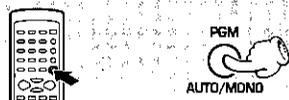
繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切換を"CD"または"MD"にする

1 曲を繰り返し聴くとき

① "PGM"表示の消灯を確かめる



② 繰り返したい曲を再生する

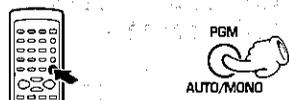


③ "REPEAT"を選ぶ



全曲を繰り返し聴くとき

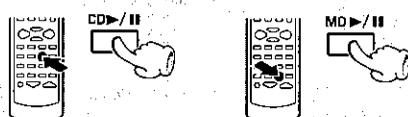
① "PGM"表示の消灯を確かめる



② "REPEAT ALL"を選ぶ

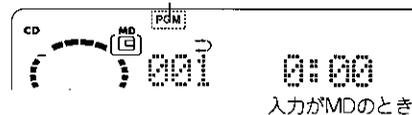


③ 再生する



- "PGM"表示が点灯しているときは、PGM/AUTO/MONOキーを押して消灯させてください。

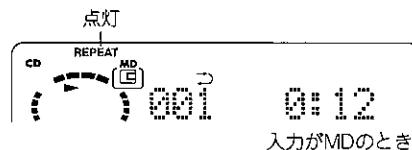
消灯を確かめる



押すたびに切り換わりします。

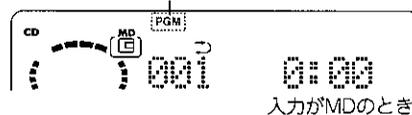
- ① "REPEAT"
- ② "REPEAT ALL"
- ③ 消灯.....リピート解除

- たとえば3曲目をくり返し聴きたいときは、その曲の再生中か、一時停止中に"REPEAT"を選んでください。



- "PGM"表示が点灯しているときは、PGM/AUTO/MONOキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる



押すたびに切り換わりします。

- ① "REPEAT"
- ② "REPEAT ALL"
- ③ 消灯.....リピート解除



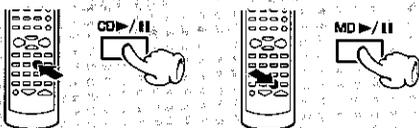
選んだ曲だけを繰り返し聴くとき

- ① "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順②までを行い、聴きたい曲をプログラムする

- ② "REPEAT ALL"を選ぶ



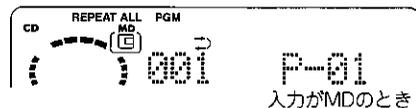
- ③ 再生する



押すたびに切り換わります。

- ① "REPEAT ALL"
- ② 消灯.....リピート解除

- 選んだ曲全部を繰り返します。



繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを解除になるまで押します。

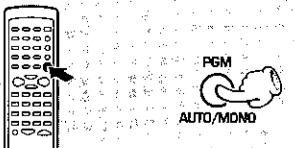
- "REPEAT ALL"表示が消灯し、CDプレーヤーまたはMDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

ランダム再生を楽しむ

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

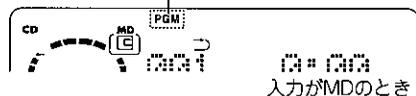
入力切換を"CD"または"MD"にする

- 1 "PGM"表示の消灯を確かめる



- "PGM"表示が点灯しているときは、PGM/AUTO/MDNOキーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

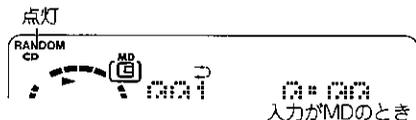


- 2 RANDOMキーを押す



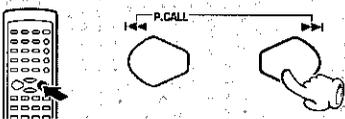
押すたびに切り換わります。

- ① "RANDOM"点灯 ランダム再生する
- ② "RANDOM"消灯 通常の再生



- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- REPEATキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RANDOM"表示を消灯させる



- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

便利な録音あれこれ

録音のタイプを選ぶ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください

本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

CDを、MDに短時間で録音したいときは

High Speed (倍速)ダビング (CD→MD)

40

全曲倍速録音

CDの全曲を、通常再生の半分の時間でMDに録音することができます。

CDの録音を簡単にしたい時は

ワンタッチエディット録音 (CD→MD、CD→TAPE)

41

全曲録音

CDの全曲を、MDまたはテープのいずれかに録音できます。

一曲録音

その時に聴いているCDの1曲だけを、MDまたはテープのいずれかに録音できます。(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

- MDからテープへの"ワンタッチエディット録音"はできません。

CDを、MDとテープに同時録音したい時は

TWIN REC (CD→MD、TAPE)

42

全曲同時録音

CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。

一曲同時録音

その時に聴いているCDの曲だけを、MDとテープに同時に録音できます。(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

曲を選び曲順を並べかえて録音をしたい時は

プログラム録音 (CD→MD、CD→TAPE、TWIN REC、MD→TAPE)

43-44

プログラム録音

プログラムした曲順で録音します。(CDまたは、MDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。)プログラムした曲順で、MDとテープに同時録音することもできます。

テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープの分だけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

全曲倍速録音 (CD → MD)

CDの全曲を、MDに倍速録音できます。

CDプレーヤー、MDレコーダーは停止状態にしてください。

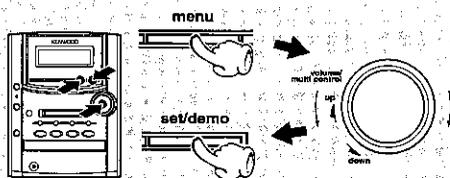
1 録音の準備をする

- ① 入力切換を"CD"にする
- ② "PGM"、"REPEAT"、または"REPEAT ALL"表示の消灯を確認する
- ③ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
- ④ CDプレーヤーにディスクを入れる

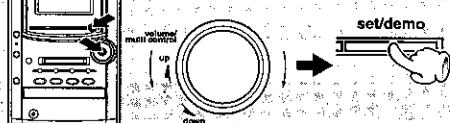
- "PGM"表示を消灯させるには、PGM/AUTO/MONOキーを押します。
- "REPEAT"または"REPEAT ALL"表示を消灯させるには、表示が消えるまでREPEATキーを繰り返し押しします。

2 録音を始める

① "REC MODE ?"を選ぶ



② "CD->MD<HIGH>?"を選ぶ



回すたびに表示部が切り換わります。

- ① CD->MD<NORM>?
- ② CD->MD<HIGH>?
- ③ CD->TAPE?
- ④ TWIN REC?

- CDの1曲目から倍速録音が始まり、全曲を録音します。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聞こえます。
- CDまたはMDのどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには



- いったん倍速録音をはじめてしまうと、録音をはじめから74分以内に同じディスクを倍速録音することはできません。この場合、続けて同じディスクを録音したいときは、ワンタッチエディット録音(通常速の録音)で録音をしてください。



同じディスクの倍速録音ができるようになるまでの時間

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常速の録音で録音しなおしてください。

ワンタッチエディット録音 (CD→MD/CD→TAPE)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)

CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(一曲録音)

MDレコーダー、カセットデッキは、停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき

- ① MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

CD→TAPEのとき

- ① "テープに録音する"の手順1~3までを行う
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

2 CDの再生状態を確認する

全曲録音

再生中の時は停止させる



一曲録音

好きな曲を再生する

他の曲を録音するには、手順②、③を繰り返します。

3 録音を始める



- 一曲録音をするときは、MD O.T.E. キーまたは、TAPE O.T.E. キーを押すと、再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。
- 本体で操作する場合は、"REC MODE"の"CD->MD<NORM>?"または"CD->TAPE?"を選んで録音することもできます。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....

- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

MDとテープに同時録音 (TWIN REC) (本体のみ)

CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。(全曲同時録音)

今聴いている曲だけを、曲の最初からMDとテープに同時に録音できます。(一曲同時録音)

MDレコーダー、カセットデッキは、停止状態にしてください。

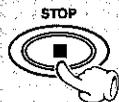
1 録音の準備をする

- ① MD : MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
TAPE : "テープに録音する"の手順 1~3までを行う -[34]
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

2 CDの再生状態を確認する

全曲同時録音

再生中の時は停止させる



一曲同時録音

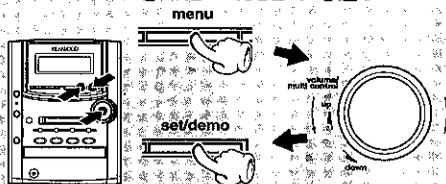
好きな曲を再生する

-[21]

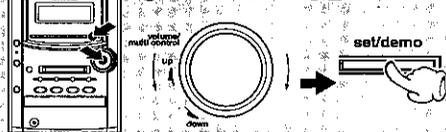
他の曲を録音するには、手順②、③を繰り返します。

3 録音を始める

① "REC MODE ?"を選ぶ



② "TWIN REC ?"を選ぶ

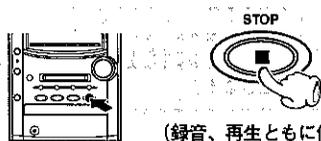


回すたびに表示部が切り換わります。

- ① CD→MD<NORM>?
- ② CD→MD<HIGH>?
- ③ CD→TAPE?
- ④ **TWIN REC?**

- 1曲同時録音のときは、**set/demo** キーを押すと、"MD REC"と"TAPE REC"表示が点灯し、再生中の曲の始めに戻ってから録音が始まります。

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

録音が終了すると.....

- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

プログラム録音(CD→MD/CD→TAPE/TWIN REC)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDまたはテープに録音することができます。

MDレコーダー、カセットデッキは、停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

- ① MD : MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
TAPE : "テープに録音する"の手順 1~3までを行う -[34]
- ② CDプレーヤーにディスクを入れる

2 CDの曲順をプログラムする

CDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順①~④を行う -[36]

- プログラムした内容を取り消すには、**PGM/AUTO/MONO** キーを押します。 -[36]
- MDやテープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

3 録音を始める

CD→MDまたはCD→TAPEのとき



または



TWIN REC のとき

"MDとテープに同時録音(TWIN REC)"の手順①を行う -[42]

録音を途中でやめるには



(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....

- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

プログラム録音 (MD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

MDレコーダー・カセットデッキは、停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

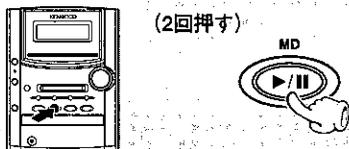
- MD : MDレコーダーにディスクを入れる
- TAPE : "テープに録音する"の手順 1~3までを行う -[34]

2 MDの曲順をプログラムする

MDの"曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)"の手順 ①~②を行う -[36]

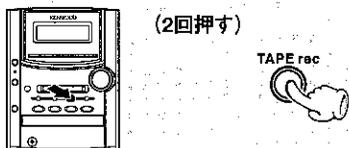
- プログラムした内容を取り消すには、PGM/AUTO/MONOキーを押します。
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

3 プログラム再生を始める前に一時停止にする

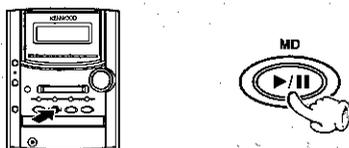


- プログラム再生が始まったときは、◀◀キーを1回押して曲の先頭に戻してください。

4 録音一時停止状態にする



5 録音を開始する



- MDのプログラム再生と同時にテープの録音が始まります。

録音を途中でやめるには



録音が終了すると.....

- MDレコーダー : 停止します。
- カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

本機ではメタルテープでの録音はできませんのでご注意ください。

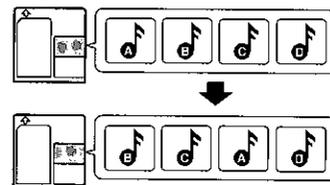
編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。 -[65]

曲の移動

曲を1曲ずつ移動する (TRACK MOVE) -[46]



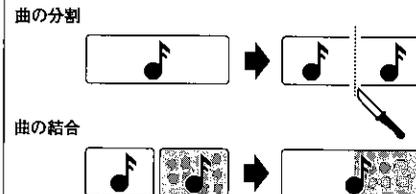
MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませう、お願いいたします。 -[68]

曲の分割と結合

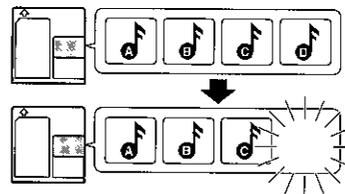
曲を分ける (TRACK DIVIDE) -[48]

曲をつなぐ (TRACK COMBINE) -[49]

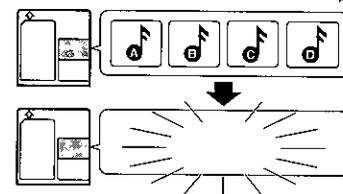


曲の消去

1曲消す (TRACK ERASE) -[50]



全曲消す (ALL ERASE) -[50]



ミニディスクや曲にタイトルをつける

-[51]

タイトルを変更、消去する -[54]

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする -[55]

タイトルメモに文字を入力する -[56]

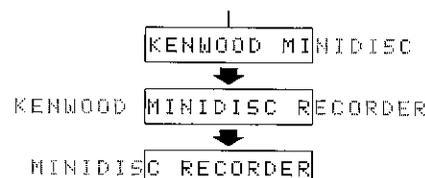
英数字に加えてカタカナの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

表示部のスクロールについて

ミニディスクや曲のタイトルなど、文字数が多いと表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、表示部の文字が右から左に流れます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールのイメージ

表示される範囲(全体を表示できない)



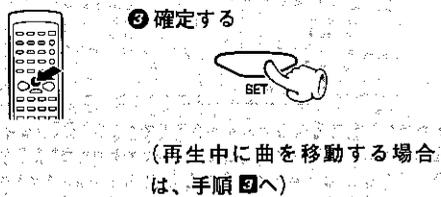
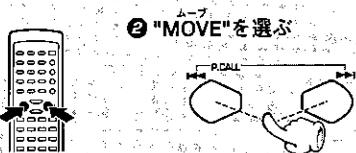
曲を1曲ずつ移動する (TRACK MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ換えることができます。

編集後、およびタイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 "MOVE"を選ぶ

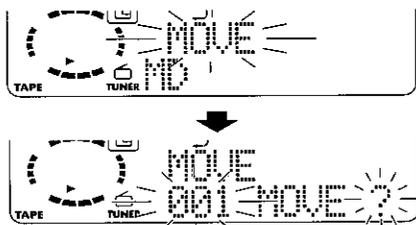


● TRACK MOVEを途中で終了したいときは、TRACK EDIT キーを押します。

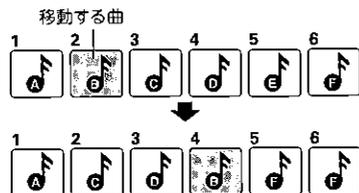
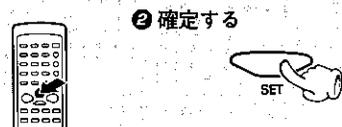
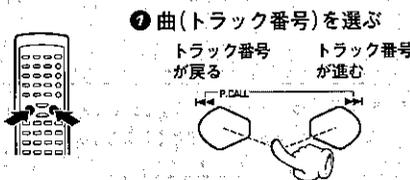
押すたびに切り換わります。

- | 停止中 | 再生中 |
|-----------|-----------|
| ① MOVE | ① DIVIDE |
| ② COMBINE | ② COMBINE |
| ③ ERASE | ③ ERASE |
| | ④ MOVE |

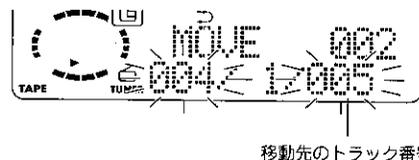
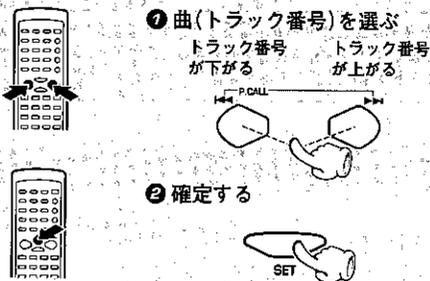
● 1曲目の再生中、または一時停止中には"COMBINE"は表示されません。



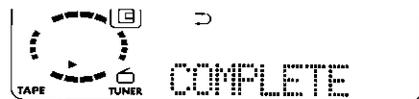
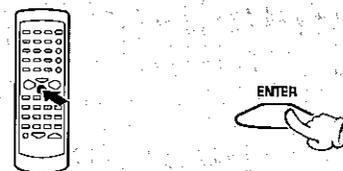
2 移動する曲を選ぶ



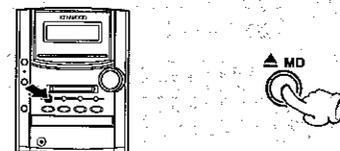
3 移動先を選ぶ



4 曲の移動を実行する



5 編集終了後、ミニディスクを取り出す



"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

① TRACK EDITキーを押す

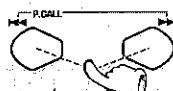


TRACK EDIT



② "DIVIDE"を選ぶ

(再生中に押すと一時停止します)



③ 確定する



3 曲の分割を実行する



(②~③を繰り返して、最大254までトラック番号を追加できます。)

4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

編集後、およびタイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

●一時停止中にも編集できます。

●TRACK DIVIDEを途中で終了したいときは、TRACK EDIT キーを押します。

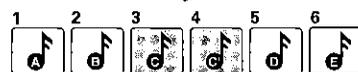
押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

●1曲目の再生中、または一時停止中には"COMBINE"は表示されません。



●分割によってできた曲間には、無音部分がありません。
●分割する曲にタイトルが付けられているときは、2つの曲が同じタイトルになります。



分割された曲(前半) 分割された曲(後半)

曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

連続する2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

各操作は表示が点滅中に行ってください。

1 "COMBINE"を選ぶ

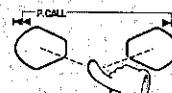
① TRACK EDITキーを押す



TRACK EDIT



② "COMBINE"を選ぶ



③ 確定する



(再生中に曲をつなぐ場合は、手順②へ)

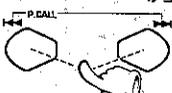
2 つなぎたい曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ



トラック番号
が下がる

トラック番号
が上がる



② 確定する



3 曲と曲の結合を実行する



4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

編集後、およびタイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。



ミニディスクの最初の曲の再生中には"COMBINE"を選べません。

●TRACK COMBINEを途中で終了したいときは、TRACK EDIT キーを押します。

押すたびに切り換わります。

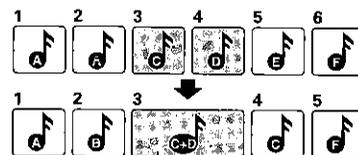
- 停止中
- ① MOVE
 - ② COMBINE
 - ③ ERASE

- 再生中
- ① DIVIDE
 - ② COMBINE
 - ③ ERASE
 - ④ MOVE

停止中のとき



●再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にTRACK EDIT キーを押してください。



前半部のトラック番号と
タイトルが残る 後半部のトラック番号と
タイトルは消える



1曲消す (TRACK ERASE) または全曲消す (ALL ERASE)

1曲消す場合 (TRACK ERASE)

再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

全曲消す場合 (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

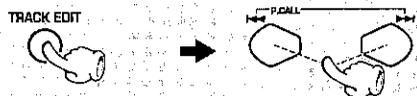
各操作は表示が点滅中に行ってください。

1曲消すとき

1 消したい曲を再生する

2 "ERASE"を選ぶ

① TRACK EDIT キーを押して "ERASE" を選ぶ



- TRACK ERASEを途中で終了したいときは、TRACK EDIT キーを押します。
- 1曲目の再生中、または一時停止中には "COMBINE" は表示されません。

② 確定する



3 消去を実行する



4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- 停止中に1曲消すときは、"全曲消すとき"の②-③で、◀または▶キーで消去したい曲を選んでください。

編集後、およびタイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

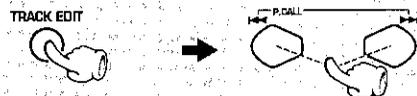
"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

全曲消すとき

1 ディスクを停止させる

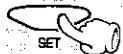
2 "ALL ERASE"を選ぶ

① TRACK EDIT キーを押して "ERASE" を選ぶ



- ALL ERASEを途中で終了したいときは、TRACK EDIT キーを押します。

② 確定する



"ALL ERASE ?" と表示されます。

- ◀▶キーでトラック番号を選んで、トラックを消去することもできます。

③ もう一度確定する



3 消去を実行する



4 編集終了後、ミニディスクを取り出す

ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)ができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

編集後、およびタイトル入力後は必ずミニディスクを取り出してください。

"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

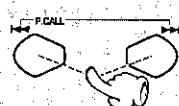
入力切替を"MD"にする

1 タイトル入力状態にする

① TITLE INPUTキーを押す



② ディスクタイトルまたはトラックタイトルを選ぶ



③ 確定する

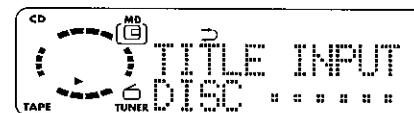


(中止するときは、TITLE INPUTキーを押します。)

ディスクタイトルをつける場合は停止状態で行ないます。曲にタイトルをつける際、手順②-③の前にMD▶/||キーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。

- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。
- タイトル編集を途中で終了したいときは、TITLE INPUTキーを押します。

ディスクタイトルのとき



トラックタイトルのとき

目的のトラック番号を選びます



登録されている各種記号 (ASCIIコード) 一覧:
!"#\$%&'()*+,-./:;<=>'?@_

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETEキーを押す)をしてください。

→54

次のページにつづく

2 タイトルを入力する

文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

文字入力キーで文字を入力するとき
(文字入力キーモード)

"Aa", "12", "77"のいずれかが表示されているときは文字入力キーのいずれかを押しください。

① DISPLAY/CHARAC. キーを繰り返し押しして、文字グループを選ぶ



② 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

● 同じキーを繰り返し押しすと文字が変わります。

例: を押す A→B→C→a→b→c

● ◀, ▶ キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。

● 間違えたときは、CLEAR/DELETE キーを押して消去します。

③ SET キーを押して、文字を確定する



(①~③を繰り返して、文字を入力します。)

"文字入力キーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

"Aa"グループ

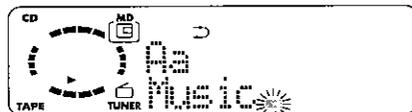
A~Z、記号とタイトルメモ([1]、[2]、[3])

"12"グループ

0~9と記号

"77"グループ

アイウエオ・・・ガキクゲゴ・・・と記号



カーソルが移動、次の文字入力待ち

タイトル編集文字一覧表

文字入力キーで文字を入力するとき (文字入力キーモード)

キー	グループ	"Aa"	"12"	"77"
1	ア	[1] [2] [3]スペース	1	アイウエオアイウエオ
2	カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3	サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4	タGHI	GHIghi	4	タチツテトツ
5	ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6	ハMNNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7	マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8	ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨヤユヨ
9	ラWXY	WXYwx	9	ラリルレロ
0	ワランQZ	QZqz	0	ワラン
+10	' , : ;	' , : ; ! . ' _ \$ スペース		
+100	& () - / + * = < > # % @			
TIME/SPACE		スペース		

● " " " はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。

● 文字入力キーを1回押ししたとき、最初に表示されるアルファベットは、そのときの状態によって大文字と小文字が入れ替わります。

◀, ▶ キーで文字を選ぶとき
(スキップキーモード)

"Aa", "12", "77"のいずれかが表示されているときは◀, ▶ キーを押しください。

① DISPLAY/CHARAC. キーを繰り返し押しして、目的の文字グループの表示にする



② ◀, ▶ キーを押して、目的の文字を選択カーソルに合わせる。

● ◀, ▶ キーを押すと表示がスクロールして、同じグループ内のすべての文字を選ぶことができます。

● ◀, ▶ キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。



③ SET キーを押して、文字を選ぶ



(①~③を繰り返して、文字を入力します。)

"スキップキーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

アルファベットの大文字グループ

A~Zとスペース(1文字分の空白)

アルファベットの小文字グループ

a~zとスペース

数字、記号グループ

0~9、スペースと記号

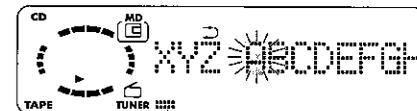
カタカナグループ

アイウエオ・・・ガキクゲゴ・・・

タイトルグループ

タイトルメモ([123])、ディスクタイトルとトラックタイトル

ミニディスクタイトルの例



次の文字入力待ち

◀, ▶ キーで文字を選ぶとき (スキップキーモード)

アルファベットの大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
アルファベットの小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ` ? @
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワランスペースーアイウエオヤユヨヴガキクゲゴザジズゼゾヂヅデバビブベボバビブベボスペースー
タイトルグループ	[123][DISC][001][002]・・・

● "スキップキーモード"で文字を入力する場合、カタカナやアルファベット文字を入力するのと同じ要領で、タイトルメモや別のディスク/トラックタイトルを入力(コピー)することができます。

3 タイトル入力を実行する

① ENTERキーを押して、タイトル入力を確定する

- タイトルを確定する前に、電源をオフ(スタンバイ)にしたり、TITLE INPUT キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。



② TITLE INPUT キーを押して、編集を終了する



③ MD▲キーを押してミニディスクを取り出す



タイトルを変更、消去する

① "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順②を行い、変更または消去したいディスクタイトル、トラックタイトルを選ぶ

② ◀または▶キーを押して、カーソルを変更または消去したい文字にあわせる

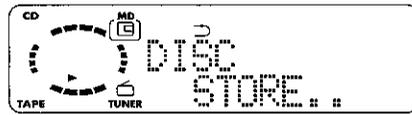
- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

③ CLEAR/DELETE キーを押して文字を消去する(消去のときは手順⑤へ)

④ 変更したいときは、手順③のあとに"ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順②を行う

⑤ "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順②を行う

- ENTER キーを押すと、次に編集するタイトル(ディスク名または曲名)を選択することができます。続けてタイトル編集をするときは、手順①-③から繰り返してください。



"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルをすべて消去する

① 入力切替をMDにしてTITLE INPUTキーを押す

② ◀▶キーを繰り返し押して、"ALL ERASE"を選ぶ

③ SETキーを押して"ALL ERASE"を確定する

④ ENTER キーを押して消去する
● ディスクタイトル、トラックタイトルともすべて消去されます。

⑤ TITLE INPUTキーを押して編集を終了する

⑥ MD▲キーを押してミニディスクを取り出す

タイトルをコピーまたはメモして、他のミニディスクや曲につける

文字入力の手間を省くため、何回も使うようなディスクタイトル(ミニディスク名)、トラックタイトル(曲名)、アーティスト名などをタイトルメモ(①~③)として保存し、別のディスクや、トラックにコピーして使うことができます。3つまでのタイトルや入力文字を保存することができます。

タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出してください。

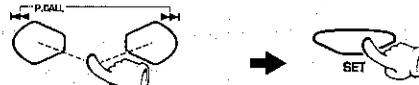
"WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)

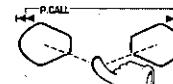
① MD停止中に、TITLE INPUTキーを押す



② 保存先のタイトルメモ(①~③)を選ぶ



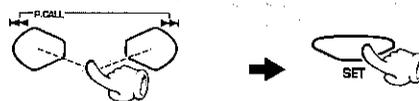
③ スキップキーモードにする



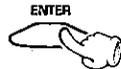
④ コピーするタイトルグループ[123]を選ぶ



⑤ コピーするディスクタイトルまたはトラックタイトルを選ぶ



⑥ 保存先のタイトルメモに保存する

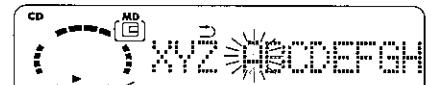


⑦ TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する



⑧ MD▲キーを押してミニディスクを取り出す

- TITLE COPYを途中で終了したいときは、リモコンのTITLE INPUTキーを押します。



- DISPLAY/CHARACキーを繰り返し押すと、タイトルメモ選択の画面に移ります。

- すでにタイトルメモが保存されているときは、そのタイトルメモが表示されます。
- 手順④の後に、手順⑤を繰り返し、同じタイトルメモに追加のコピーを続けることができます。

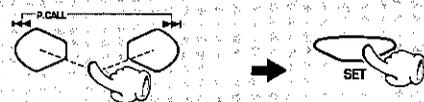
- 別のタイトルメモにコピーを続けるときは、手順②~④を繰り返してください。

タイトルメモに文字を入力する (TITLE MEMO)

① MD停止中に、TITLE INPUTキーを押す



② 保存先のタイトルメモ ([1]~[3]) を選ぶ



③ "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順図を行い文字を入力する

④ ENTERキーを押してタイトルメモに保存する

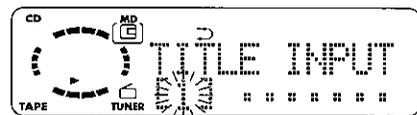


⑤ TITLE INPUTキーを押して、編集を終了する



⑥ ミニディスクを取り出す

• TITLE MEMOを途中で終了したいときは、リモコンのTITLE INPUTキーを押します。



• 別のタイトルメモに文字入力をするときは、手順②~④を繰り返してください。

タイトルメモの内容を他のディスク名、トラック名にコピーする

"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする (TITLE COPY)"の手順で、選ぶ項目(コピー先とコピー元)を反対にすることでこの編集ができます。

55ページの手順①~⑥を操作したあと、手順②と④を下記のように変更してください。この2つの操作で繰り返し入力ができます。

手順② 保存先としてタイトルメモの代わりにディスクやトラックタイトルを選ぶ

手順④ ◀または▶キーでコピーするタイトルメモ1~3を選ぶ

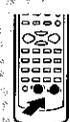
音質の調整

低音域と高音域の調整をします。(リモコンでのみ操作可能)

① 音域を選びます



② 調整する



(他の音域を選ぶ時は手順①、②を繰り返します)

押すたびに切り換わります。

- ① "BASS" (低音域) を調整
BASS +2
- ② "TREBLE" (高音域) を調整
TREBLE -4
- ③ 通常状態

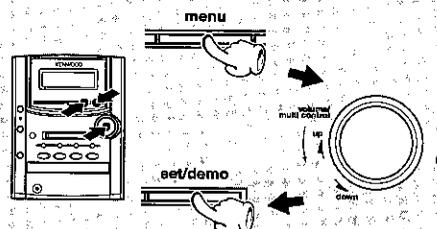
• "BASS"、"TREBLE"とも2ステップ毎に、-8~+8の範囲で調整できます。

• "LOUD"または"EX.BASS"表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。

バランスの調整

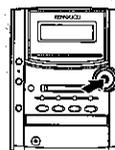
左右の音量バランスを調整します。(本体でのみ操作可能)

① "BALANCE ?" を選ぶ

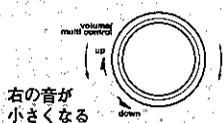


("?"マークが点滅中にset/demoキーを押す)

② 調整する



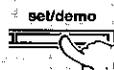
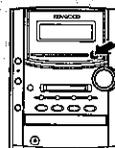
① バランスを調整する



右の音が小さくなる

左の音が小さくなる

② 確定する



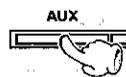
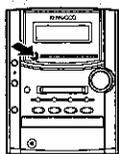
回すたびに表示部が切り換わります。

- | | |
|------------------|---|
| TAPE RVS. | ? |
| REC MODE | ? |
| ケンメイセッテイ | ? |
| (入力切換がチューナーの時のみ) | |
| AUX INPUT | ? |
| (入力切換が外部入力の時のみ) | |
| BALANCE | ? |
| BACK LIGHT | ? |
| A.P.S. SET | ? |
| TIMER SET | ? |



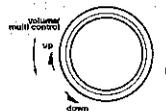
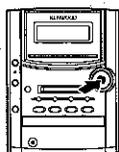
外部入力機器を聴く

1 電源がオンのとき、AUXキーを押す



2 接続した機器を再生する

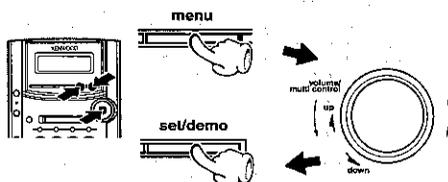
3 音量を調節する



インプットレベルを調整する

AUX入力端子に接続された外部機器(ビデオデッキ等)からのインプットレベルを調整します。CD、MD等と同じくらいの大ききで聞こえるように、必要に応じて調整してください。(本体でのみ操作可能)

1 "AUX INPUT ?" を選ぶ



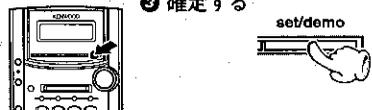
("?"マークが点滅中にset/demoキーを押す)

2 インプットレベルを調整する



レベルが小さくなる / レベルが大きくなる

3 確定する



回すたびに表示部が切り換わります。

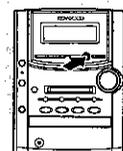
TAPE RVS.	?
REC MODE	?
AUX INPUT	?
BALANCE	?
BACK LIGHT	?
A.P.S. SET	?
TIMER SET	?



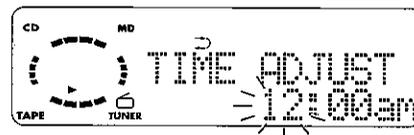
- インプットレベルを調整するときは、"AUX INPUT"の表示中に行います。
- -4~+3の範囲で調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

1 時刻合わせモードにする



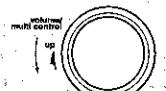
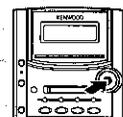
(電源がオンのとき2秒以上押す)



- 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

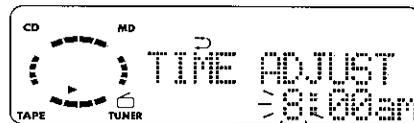
1 時間を合わせる



時間が戻る

時間が進む

8時7分に合わせる例



2 確定する



- 時間は12時間表示(AM/PM)で表示されます。
- set/demoキーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅を始めます。

3 分を合わせる

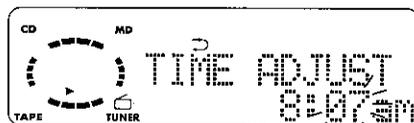
1 分を合わせる



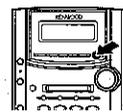
分が戻る

分が進む

8時7分に合わせる例



2 確定する



- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- set/demoキーを押して、設定が終了すると"COMPLETE"と表示します。
- 時刻合わせが済むと ":" (コロン) が点滅します。
- 電源がスタンバイ状態のとき、■STOPキーを押すと5秒間時刻を表示します。

O.T.T. タイマー:

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、1回限り1時間だけのタイマー再生ができます。

タイマー再生、タイマー録音(PROG.1, PROG.2):

設定した時間帯に、選んだソースを再生(またはラジオを録音)します。

AI タイマー再生(PROG.1, PROG.2):

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

おやすみタイマー(SLEEP):

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください-69

接続のしかたを参照して、関連機器との接続を済ませてください。10 12

O.T.T. タイマーを設定する

電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが電源をオフにしたときの音量で再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフになります。

① menu キーを押す

② volume/multi control つまみを回して "TIMER SET ?" を選ぶ

③ set/demo キーを押す

④ volume/multi control つまみを回して "O.T.T. SET ?" を選ぶ

⑤ set/demo キーを押して "O.T.T. SET ?" を確定する

⑥ volume/multi control つまみを回して再生または、受信を始めた時刻(オン時刻)を合わせる

⑦ set/demo キーを押してオン時刻を確定する

⑧ 設定を予約する

- リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"O.T.T."を点灯させます。
- PROG.1またはPROG.2タイマーが先に予約されているとき、O.T.T.タイマーを設定すると、PROG.1またはPROG.2タイマーの予約は取り消されます。

⑨ POWER (I/O) キーを押して、電源をオフ(スタンバイ)にする

- スタンバイ状態になると"standby/timer"表示灯がオレンジ色に点灯します。

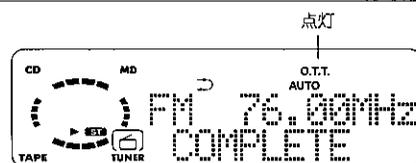
回すたびに表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
AUX INPUT	?
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
BACK LIGHT	?
A.P.S. SET	?
TIMER SET	?

回すたびに表示部が切り換わります。

① O.T.T. SET	?
② PROG. 1 SET	?
③ PROG. 2 SET	?

- オン時刻は、5分単位で設定できます。



- タイマー設定後、電源がオフ(タイマースタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timer 表示灯がオレンジ色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

毎日働くタイマーを設定する

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください-69

1 聴く(録音する)ための準備をする

CDを聴く

ディスクを入れる
(プログラム再生はできません。)

MDを聴く

ミニディスクを入れる。
(プログラム再生はできません。)

テープを聴く

テープをセットする。

ラジオを聴く

放送局をプリセットしておく。
-[30]

外部入力ソースを聴く

AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする。

録音する

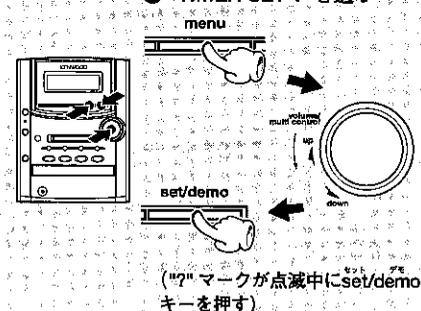
録音の準備をする。

MD - [32]
TAPE - [34]

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2種類を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

2 タイマーの番号を選ぶ

① "TIMER SET ?" を選ぶ



("?"マークが点滅中にset/demo キーを押す)

② "PROG. 1 SET ?"または "PROG. 2 SET ?" を選ぶ



③ 確定する



(タイマーの内容の表示中に押す)

回すたびに表示部が切り換わります。

TAPE RVS.	?
REC MODE	?
ケンメイセッテイ	?
(入力切換がチューナーの時のみ)	
AUX INPUT	?
(入力切換が外部入力の時のみ)	
BALANCE	?
BACK LIGHT	?
A.P.S. SET	?
TIMER SET	?

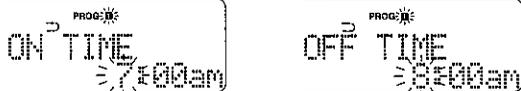
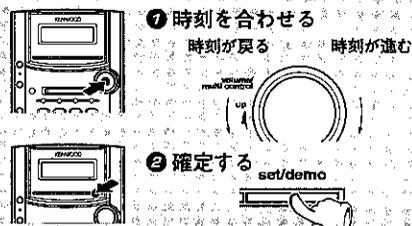
回すたびに表示部が切り換わります。

① O.T.T. SET	?
② PROG. 1 SET	?
③ PROG. 2 SET	?

- すでに予約されているタイマーの番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。
- 前の設定内容を表示します。(変更しない場合は、そのままset/demoキーを押してください)

次のページにつづく

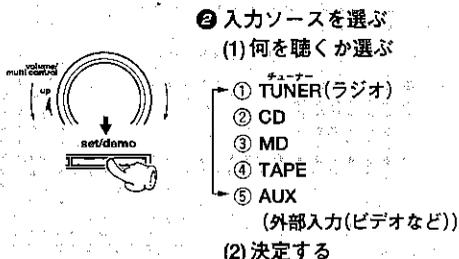
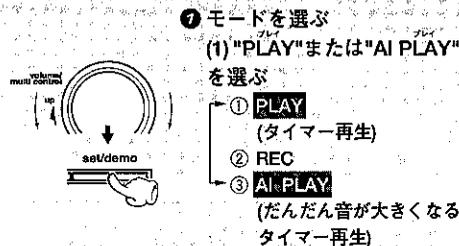
3 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する



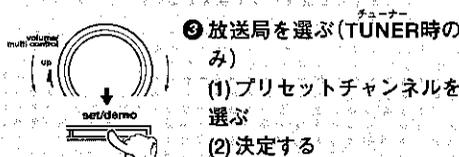
- オン時刻とオフ時刻ともに①、②の手順を行い"時間"を入力した後、同じ手順で"分"を入力します。
- 間違えたときは、menuキーを押して、手順②からやり直してください

4 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

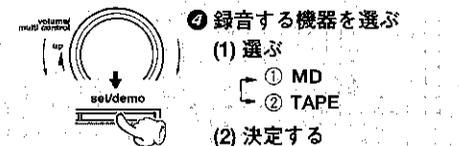
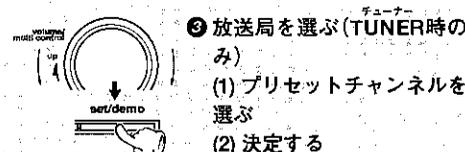
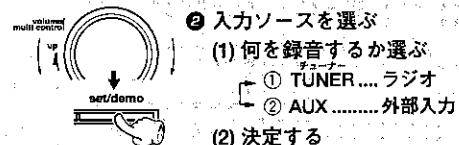


● AUXを選ぶときはvolume/multi controlつまみを左に回してください。



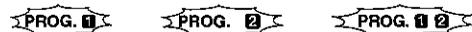
- set/demo キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE"と表示します。
- "PLAY"を選ぶと電源をオフにしたときの音量で再生されます。

タイマー録音をするとき



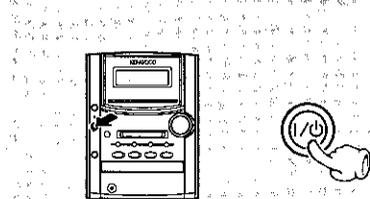
- set/demo キーを押して、設定が終了すると"COMPLETE"と表示します。
- タイマー録音中は音が出ません。音を聴きたいときは、volume/multi controlつまみを回して(またはリモコンのvolumeキーを押して)音量を調節してください。

5 設定を予約する



- リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、"PROG. 1"、"PROG. 2"、または"PROG. 1 2"を点灯させます。

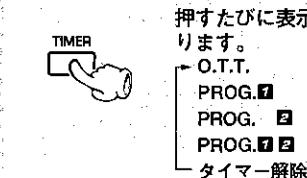
6 電源をオフ(スタンバイ)にする



- スタンバイ状態になると"standby/timer"表示灯がオレンジ色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ(タイマースタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timer 表示灯がオレンジ色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

タイマーを解除するとき

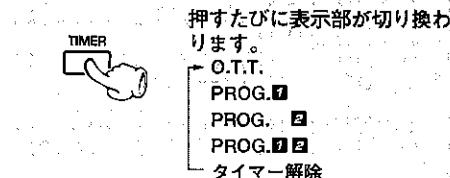
電源がオンのとき、TIMERキーを押してタイマーの表示を全て消灯させる



- 予約内容は記憶しています。

再び同じ内容のタイマーをセットするとき

電源がオンのとき、TIMERキーを押して予約したいタイマーの表示を点灯させる



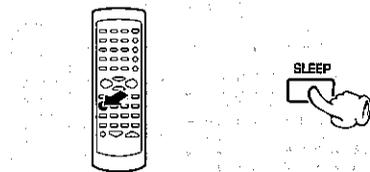
- ディスク、テープの準備、音量の調節をしておきます。

予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

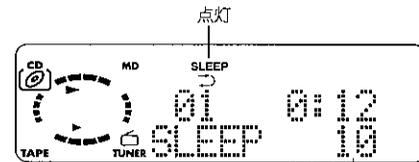
おやすみタイマー(SLEEP)

何分後に電源を切るかを設定します

時間を設定する



- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
 - 一回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。
- 10 → 20 → 30 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20



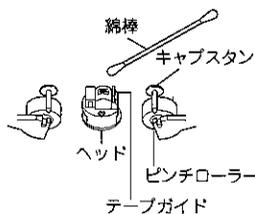
セットする時間

解除するには

電源をオフにする、またはSLEEPキーを解除になるまで押します。

メンテナンス

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になりますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、下記の操作を行ってください。

- ① CD、MDを取り出します。
- ② MD ▶/III キーを押す。

MD NO DISC

- ③ CD ▶/III キーを押す。
- ④ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

- ⑤ 数秒間待って、電源をオフにします。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容

時計表示
MDレコーダー部

アンプ部
電源の状態
(オンまたはスタンバイ)
ラストインプットセレクタ
ボリューム値
トーンコントロール値
AUXインプット値
バランスの設定
オートパワーセーブの設定
チューナー部
受信バンド
周波数
プリセット放送局
AUTO、MONOの設定
タイマーの設定内容
カセットデッキ部
テープ走行方向
テープイコライザー
リパースモード

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源コンセントからプラグを抜くとメモリーは記憶されません。停電や電源プラグ抜けなどによって、編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されます。また、消えてしまった情報は回復できません。編集後には、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm, 8cm), CDV と CD - G (CDグラフィックス), CD-EXTRA の音声部分が再生できます。ディスクレベル面に DISC のマークが入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスク取扱上のご注意



取り扱い
再生面にふれないように持ってください。



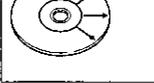
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

異常なディスクは使用しない

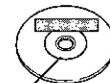
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。



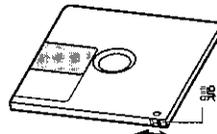
クランピングエリア

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



ミニディスク裏面

誤消去防止つまみ

孔を開く(録音禁止)
孔をふさぐ(録音可能)

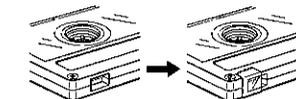
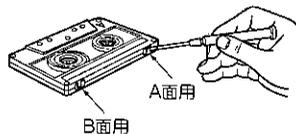
カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

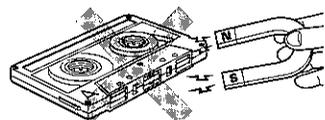
大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。
誤消去・誤録音が防げます。



再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

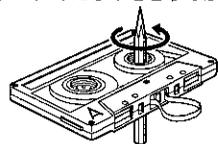
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.長時間テープについて

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起りやすいので使用しないでください。

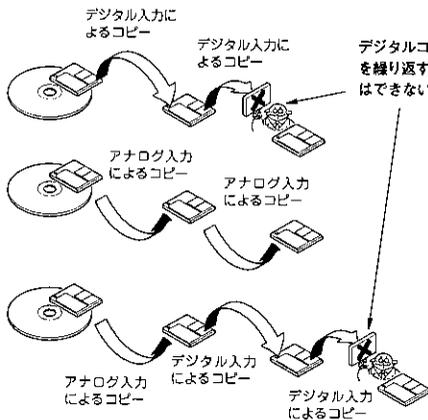
2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
電話 (03) 5353-0336 (代表)
FAX (03) 5353-0337

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開けたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

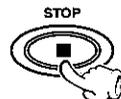
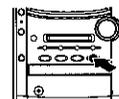
調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、
STOPキーを押しながら、差し込み直す。



アンプ部・スピーカー部

症状	処置
音が出ない。	●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 → [10] ●音量を上げる。 ●MUTEをオフにする。 → [19] ●ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"standby/timer"の表示が赤く点滅し、音が出ない。	●スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。
"standby/timer"の表示がオレンジ色に点滅する。	●時刻合わせをやり直す。 → [59]
ヘッドホンから音がでない。	●ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 → [19] ●音量を上げる。
スピーカーの片側から音が出ない。	●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 → [10] ●左右のバランスを調節する。 → [57]
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	●現在時刻をもう一度合わせる。 → [59]
タイマーが作動しない。	●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 → [59] ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 → [61] ●リモコンのTIMERキーで実行指定する。 → [63]

チューナー部

症状	処置
放送局が受信できない。	●アンテナを接続する。 → [10] ●放送バンドを合わせる。 → [28] ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 → [30]
雑音が入る。	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 → [30] ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。 → [30]

MDレコーダー部 (MD規格上の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分、80分)と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● ささまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部 (その他の症状)

症状	処置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 ● AUXインプットレベルを調整する。 ● 入力切換を録音したいソースにする。
音がひずむ。	● 録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時)AUXインプットレベルを調整する。
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

MDレコーダー部 (メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置
MD NO DISC	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。
CAN'T COPY	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● オーディオ信号でないデジタル信号が入力されているCDを録音しようとしている。	● 本機では録音できません。 ● 本機では録音できません。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音用ミニディスクを入れ換える。 ● 一枚のディスクには256曲以上録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	● "入力できる文字数について"を参照してください。
BLANK DISC	● 何も録音されていないミニディスクです。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。
READING	● TOC*1 情報を読んでいます。	● 故障ではありません。
WRITING	● 編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
DISC ERROR	● UTOC*2 の内容が異常である。	● "ALL ERASE"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲など、制限を超えて編集しようとしている。	● 制限範囲内で編集する。
? の点滅	● "編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	● ENTERキーを押すと、編集が実行されません。
PROTECTED	● ミニディスクが"録音禁止"されている。	● "録音可能"にする。
PLAY ONLY	● 再生専用のミニディスクである。	● 録音用ミニディスクを入れる。
UNIT ERROR	● 何らかのトラブルを示します。	● 電源をいったんオフにし、再びオンにすると、通常の状態に戻ります。
PLEASE WAIT	● CD倍速録音を始めてから、74分以内に同じディスクを倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音を始める。

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

CDプレーヤー部

症状	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - [65] ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 - [64]
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●CD▶/III キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - [65]
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - [65] ●振動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

症状	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 - [64] ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを開めてから何秒か待って操作キーを押す。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 - [29]
TAPE ▲ キーのマークを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●マイコンをリセットする。 - [67]
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 - [64] ●テープがのびている。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。(AUX使用時) AUXインプットレベルを調整する。 - [58]
雑音大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 - [64] ●電気器具、テレビなどから離す。 ●テープイコライザーをオンにする。 - [27]
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 - [64] ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 - [29] - [27]
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 - [65] ●ホルダーを完全に閉める。 - [26] ●入力切換を録音したいソースにする。 - [35] ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 - [27]

リモコン部

症状	処置
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 - [17] ●操作範囲内で操作する。 - [17]

保証書 (別途添付)

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通省産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -